大正六年五月十九日 (一)　THE KEIJO NIPPO　(金曜日)　(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)　(年中無休刊)

京城日報

十八日夕刊

支那の形勢

▲段氏内閣譲渡交渉

段總理は十六日范教育總長を派して天津の徐世昌氏を訪問せしめたり之時局を調停せしめ若し段氏辭職の際には同氏をして後繼内閣の總理たらしめん爲めなり(北京特電)

▲段總理は徐世昌氏に對し内閣譲渡の交渉を爲せり(北京電報)

◎露國外相及陸相新任

露都來電=外相ミリユーコフ氏は辭職して内閣を去り藏相テレスチエンコ氏外相に任命され法相ケレンスキー氏は陸相に任命せられたり(紐育電報)

◎伊太利軍攻勢に移る 敵の山砲隊を撃攘す

伊太利公報に曰く我軍は十五日攻勢を開始し其結果ザゴラ、ポンプレーツの村落に在る敵の山砲隊を撃攘し俘虜約四千機關銃三十臺を得たり(倫敦電報)

◎伊太利軍前進す

伊太利軍はトルミノより海岸に向け六十哩に亙る戰線に於て前進しつゝあり(倫敦電報)

◎單獨講和は誤傳か

獨逸の對露單獨講和説は獨逸宰相の『露國にして若侵略政策を撤回せば露國と永久に友誼を結ぶを得べし』との議會に於ける聲明を誤傳せるものならんと(紐育電報)

◎米國武裝準備完成

米國政府は百萬人以上を武裝するに充分なる銃を所有し居れるが必要に應じ迅速により以上の人員に對し武裝を施すの準備完成せる旨公表せり(紐育電報)

◎野田代議士歸縣

代議士野田卯太郎氏は東京滯在中の處十八日出發福岡へ向へり(東京特電)

◎佐藤少將通過

滿洲より歸還の途に在る歩兵第三十三旅團長陸軍少將佐藤次郎氏は十七日午後六時三十五分著列車にて來釜十八日午後一時釜山出港陸軍御用船第三琴平丸にて宇品經由福山に向け歸還の途に就けり(釜山特電)

◎神戸大佐出發

歩兵第四十一聯隊長陸軍大佐神戸次郎氏は十八日午後一時陸軍御用船第三琴平丸にて釜山發宇品經由福山に向け出發せり(釜山特電)

◎淺倉中學生出發

福岡縣立淺倉中學校職員生徒百二名は十七日夜出港關釜連絡船新羅丸にて釜山發歸校の途に就けり(釜山特電)

◎御眞影下賜

天皇皇后兩陛下の御眞影は總督府東京出張所大城戸囑託奉侍して十七日午後九時南大門驛著入京、同驛に奉迎せる時永總務課長拜戴し直ちに總督府に奉安したり

◎御眞影拜戴式

特に總督府に御下賜相成りたる天皇皇后兩陛下の御眞影は極めて大型のものなる趣きなるが總督府にては十九日午前八時三十分より第一會議室に於て拜戴式を擧行することゝなれり

◎國分長官の拜戴

國分司法部長官の奏請に依り畏き邊りにては同氏に對し嚢きに天皇陛下の御眞影を下賜せられしは既報の通りなるが、今回また皇后陛下の御眞影を下賜あらせられたり

◎間島視察團引見

十七日夕入京せる間島視察團一同は十八日午前八時三十分總督府を訪問せり長谷川總督は直に一行を第二會議室に引見別項所報の如く一場の訓示を爲し李團長之れに對して答辭を述べたり

◎首相小照寄贈

寺内首相は十七日夜入京せる大城戸囑託に託し自己の小照に自署して之れを總督府外所屬官署の主なる長官局長等に寄贈したり

◎定例長官會議

十八日は定例長官會議日なるより長谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合の上正午散會したり

◎藤山雷太氏歸東

日本製糖株式會社々長朝鮮製糖株式會社發起人藤山雷太氏は十七日夜釜山出港關釜連絡船新羅丸に搭乘し歸東の途に就けり(釜山特電)

◎歸還部隊通過

過日朝鮮を通過し鐵嶺に赴きたる歩兵第十三旅團と交替し同地出發歸還の途に在る歩兵第三十三旅團司令部歩兵第四十一聯隊本部並に同聯隊將校以下七百九十名は十七日午前五時十八分及び午後六時三十分著列車にて釜山著一泊の上十八日午後一時出港の陸軍御用船第三琴平丸に搭乘宇品經由原隊福山に向け歸還の途に就けり(釜山特電)

◎監獄監督官會議(第五日)

監獄監督官會議第五日は前日に引き續き十八日午前九時より總督府第二會議室に開催出席者前日の如く國分司法部長官統裁の下に直に日程に入り午前は意見の提出午後は協議事項あ

總督訓示 間島視察團に對し

十八日午前八時三十分第二會議室に於て間島朝鮮人視察團に與へし長谷川總督の訓示左の如し

予は長谷川總督なり、玆に諸君と相見ゆるを喜ぶ、今回諸君が觀光團を組織し親しく故國の狀況を視察せむが爲め來城せられたるは本總督の洵に欣快とする所なり。

然し乍ら新政開始以來歳を閲すること僅々淺くして萬般の施設は未だ所期の域に達せず、從つて諸君の視察を果して滿足せしむるに足るものありや否やを疑ふと雖も、諸君の視察に對しては充分の便宜を供與す可きを以て、希くば諸君は各方面に亙り極力詳細の視察を遂げ、歸還の上在住同胞に對し、其の見聞を語りて汎く現在の狀況を審かならしめんことを望む。

殊に間島在住朝鮮人中には未だ新政の趣旨を了解せざるものありと聞く是等に對しては諸君今回の視察より得たる知識を以て之が疑惑を釋き統治の趣旨を了解せしめ、相勵み、以て均しく皇化に浴せしむる樣盡力あらむことを望む。

◎内地行き鐵道貨物輸送狀況 安藤鐵道局參事談

本年三月末日朝鮮鐵道各驛及び安東驛に停滯貨物の輸送期日に就ては四月上旬發表したるが其後の輸送は順調に進捗し今や九州行は全部輸送を終はり本州行は二十餘車を殘すのみに至り豫定よりも早く輸送を完了するに至れり之れ各驛への出荷申込に掛値あり實際輸送するに當りては荷物無く取消を申込むものありたると關釜連絡船が風波の爲め休航又は荷役不能の場合少かりし等の爲なり今四月一日以降五月十日迄に申込みたる貨物は左の通り

	局線各驛	安東驛	釜山棧橋にあるもの及び輸送中のもの
本州行	七、七九〇噸	五、八〇二	二、六九七
九州行	二、三七六	六、六二四	一、一一七
計	一〇、一六六	一二、四二六	三、八一四

併し右輸送の爲に京釜京義全線に數往復の臨時列車を運轉して極力一掃に努め居る現狀なるが大概左の日取には輸送を終了することゝなる見込なり

	局線各驛	安東驛
本州行	六月十六日	六月廿四日
九州行	六月廿二日	六月卅日

然れども右は前述通り申込數量が實際數量を一致せざる場合及び關釜連絡船が風波の爲め缺航、荷役不能等の場合には豫定に多少の狂を來すことあるは豫め承知せられたし云々

◎京城法院長著任期

平壤地方法院長より京城地方法院長に轉任せる勅使河原鍵之助氏は十九日午後七時三十分南大門驛著列車にて著任の筈なり

◎淺田院長赴任期

京城覆審法院部長より公州地方法院長に榮轉したる淺田賢介氏は二十日午前八時半南大門驛發の列車にて出發赴任すべしと

◎隈部隊長巡視

京畿道警務部長隈部大佐は管内狀況巡視の爲め十八日朝出發往十里驛方面へ出張したるが即日歸任す

◎美濃部總裁元山行

朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は調査課長李書局長井内勇秘書役鮎瀬安輔の諸氏を隨へ十九日午前九時三十分南大門驛發列車にて元山視察の途に就く由なるが同夕元山著直ちに同地官民有力者多數を招待し大芳にて開催する新舊支店長更任披露宴に臨み二十日午前九山視察の上午前九時四十五分若くば午後二時四十分元山發の列車にて歸京すべしとの事なるが多分午後二時四十分發にて十一時四十分南大門驛著となるべしと

◎本年增師施設 四地に兵營を新設

朝鮮師團增設計畫に伴ふ大正六年度の施設は兵營に於て龍山、大邱、咸興並に大田の四地となり其他官舍の營造も多く總經費二百五六十萬圓に上る由なるが既に何れも受負入札に附して工事に著手したり而して其竣工は明年三月末となり居れるも結氷其他の關係上各營造物共來る十一月迄に竣工其の引渡しをなす事となるべし尚ほ龍山練兵場に新築すべき歩兵聯隊收容の軍營は軍司令部直營の下に其の營造を行ふべし

◎視察團長答辭

別項長谷川總督の訓示に對し視察團長李熙惠氏の答辭左の如し

新政開始せられてより以來諸般施設改善の狀況に就ては吾等僻陬の地に在りて既に其の概況を聞得し豫想せるものありたるも、今回の實地視察により其の改善の點豫想以上に進捗せるに驚き、滿腔の快心を以て觀光しつゝあり。此の視察に依りて得たる處のものは歸還の上充分間島在住帝國臣民に周知せしめ、以て御訓示の趣旨に副はむことを期す可し。

◎苗代成育良好

全鮮の苗代は既に何れも其の蒔付を終り概ね發芽し居れるが目下の狀況にては播種前後雨多く用水潤澤なりしも晴天後氣溫高昇せる爲め發芽狀況好良也と

◎地下線布設工事

京城本町三丁目櫻井町入口より同三丁目巡査派出所前までは架空電線なりしが萬一火災等ありしときは被害の虞あるを以て之を地下線に變更の爲め來る廿二日より五日間の豫定を以て該區間九十七間道路南側を夜間に於て掘鑿の上管路を布設する工事に著手すべし又本町通既設地下線路の狀況は先般來所々掘鑿試驗の上管路に泥土の侵入塡塞し居れるを發見し既に修理工事を終りしが右等の原因は主に下水の爲めに埋設しある電線は被害を免かれざるに侵害せらるゝものにて概して低地の南側步道延長三十間許りの間を來る廿五日より七日間の豫定にて掘鑿の上管路位置變更工事に著手すべし

◎前法院長送別會

京城地方法院長に榮轉せる勅使河原判事の送別會は二十一日松寺檢事長の歸任を待ちて開催すべき豫定なりしが同判事の赴任期急に變更せられし爲め十七日午後七時より大同館に於て之を開催したり會する者八十餘名席定まるや關口檢事正は發會人側を代表して開會の挨拶を爲し勅使河原判事の謝辭ありて乾盃し主客歡を盡して十時過散會せり(平壤)

◎群山米界活況

群山に於ける米界は最近非常の活況を呈しつゝあり奧筋在米の不足と内地米界の高潮なるとに因り當地の米價は著しき奔騰を來し大阪相場に比し地相場一圓高を示すに至り一般當業者は益々强氣を持し各奧地に入れるもの、如く最近一兩日の米價昂騰の間に群山米商の得たる利得の總額は約五六萬圓に上るべしと(群山)

◎湖西銀行廣川支店

忠南禮山の湖西銀行は資本金三十萬圓の株式組織の下に大正二年七月李基升及び成樂憲等諸氏の發起にて創設したるものなるが爾來其經營宜しく營業隆盛に赴き昨年下半期の如きは年八分の配當をなせりされば此際地方金融狀態の趨勢に鑑み營業擴張の目的を以て洪城郡廣川市場に其支店を設置せんと出願中なりし處愈本月十四日附を以て許可されたり(　)

仁川

▲株應募好況　朝鮮燐寸株式會社株募集は頗る好況にて日々多數の申込みあり十七日の如き百數十株の應募者ありしを以て期日迄には募集數に達す可き見込みなりと和田書記長は語れり▲仁川在庫穀　仁川穀物協會の調査に係る十五日現在穀類數量左の如し

▲玄米二二五、三一四▲白米二、五二二▲粉米四、二四九▲大豆一六、四一〇▲粟六三〇▲小豆三、九一二▲小麥一〇、九一四▲落花生一二二▲裸麥二八▲糯米一四六▲籾米七、〇二一

▲飯田所長歸仁　仁川米豆取引所長飯田茂登雄氏は十七日歸任せり▲櫻井税關長歸期　全國税關長會議に列席したる櫻井税關長は二十日頃歸任の豫定なりしが神戸長崎方面視察の爲旅程を變更し二十五日歸任の筈也

大田

▲記者團歡迎　京城及び沿線の新聞雜誌記者の來田を機として湖南日報社大田實業協會の主催の下に十九日午後七時より料亭富士屋に於て大歡迎會を開催する由因みに同一行の宿所は温泉會社に於て目下準備中なるが京城團は本町中川旅館に沿線團は千歳旅館に決定したる由▲牧草栽培獎勵　大田郡に於ては去る大正三年頃より牧草の栽培を獎勵し來りたるが其の成績見るべきものあるも遺憾の點少からざるを以て今回技術員を派遣して除草施肥其他の指導を爲す筈なるが現今の作付種類はクローバー及びルーサンの二種なりと▲米價暴騰　近來麥作不良の鮮人多き爲め浦鹽方面輸送劇增其他の强硬材料多き爲め一般農家は將來の見越し賣惜しみの一方なるより大田地方の米價は日一日と騰貴し大田精米同業組合に於ては原料の拂底を理由として十六日より白米一等を二十錢二等十九錢同糯一等二十二錢同二等廿一錢に値上せり▲牛價暴騰　忠淸南道に産する畜牛は朝鮮第一と稱せられ從來釜山を經由して内地に輸出し來りたるが昨年の見込は中等以上一頭の價格二三十圓位に過ぎざりしが本年一圓頃より暴騰し七八十圓乃至八九十圓を稱するに到れり因みに大田地方に於ける鮮牛内地輸出業者は四名にして一箇月の移出は大田驛のみにて約六十頭なりと▲修繕落成期　大田尋常高等小學校々舍の大修繕は意外の日數を要したるも目下非常の進捗を見たれば來る二十日頃より授業開始に差支なかるべし▲選手遠征　大田庭球俱樂部員は大邱同好者の挑戰に應ずる爲め來る二十日同地へ遠征すべく目下必勝を期して極力練習中なり▲里長整理實施　大田郡内に於ける各面里長は從來經費節約の趣旨を以て二里乃至三里に一里長を置きたるも其の成績不良なりしを以て大正六年度より里の大小を問はず一里に一名の里長を置く事として其の經費は削減し來りたるが將來の如きも削減し來りたるに於ては全然里長の給料を全廢し名譽職となすの方針なりと▲大田金融の狀況　大田金融組合管内に於ける現今の金融狀況を聞くに目下農繁期に差し迫りたる爲め資金の回收は殆んど皆無にて貸出し一方なるが其の主なる需用資金は昨年の水害に罹りたる水田及び田の復舊費と耕牛購入資本並に種子購入資金等なるが本月一日より十五日までの貸出は約二千百圓にして從前よりの累計は約一萬七千圓に上ると▲甲斐署長著任　新任大田警察署長甲斐警視は豫定の通り十七日午後零時二十五分著列車にて著任せり尚停車場には在住主なる官民、消防組代表者等七八十名の出迎へありたり

群山

▲酒造業者組合　群山酒造當業者間に於ては斯業の啓發向上を期する爲め同業組合組織の議起り當業者合議の結果去月中組合規約を制し申請手續を了する運びとなり既に本月三日付此れが認可を得て愈々群山酒造組合の成立を見たるが組合規約中目的の概要を聞くに一、組合員共進の利福を增進する事二、取引上の弊害を除去する事三、斯業の改良發達を期する事四、支拂延滯者ある時は組合に屆け出て各自取引上の參考に資する事五、御賓は一升四百八十匁の換算にて取引する事六、每年一回以上品評會を開催し品質向上に資する事七、醸造法を研究し杜氏養成の方法を研究する事八、容器其他器具器械原料は共同購買の途を講ずる事等なり▲沿岸巡視　群山警察署長は近く沿岸各地の巡視を爲す豫定にて都合により全北道長官も同船巡航の筈なるが目下同船は修理中なるが同港にて定期檢査を受け二十一日頃歸群の豫定なり▲支店長來任　朝鮮商業銀行群山支店開業準備成りて二十一日開業の事は既報せるが如くなるが既に支店詰行員五名と共に支店長として蘆田卓藏氏來任し支店業務當面の方針としては倉庫業にあるもの、如く差し當り借庫を以て業務を開始し自然所屬倉庫を建設すべしと▲組合改選　群山學校組合議員改選期は來る六月十三日と決定し學校組合に於ては十四日より向ふ一週間有權者名簿の閱覽を許し居れるが現在有權者は二百零三名にして内九名は被選擧權を有せざるものなりと▲課金徵收成績　群山商業會議所に於ける大正五年度課金總額一千七百零五圓五十錢に對する現在未收課金額は僅々十五圓に過ぎざる會議所開始以來未曾有の好成績にて之れ一偏に會議所當

光州

▲前田院長三矢判事　今回平壤地方法院長に榮轉したる前田信兆氏又大邱覆審法院へ榮轉せし三矢正章氏の爲めに十五日午後七時より北村樓にて送別會を催したるが出席者は官民合して九十餘名宮木長官の送別辭あり前田院長の答辭ありて獻酬盛んに行れ午後十時過散會したり▲宮木長官出張　宮木長官は十七日擧行の小鹿島慈惠醫院開院式參列の爲め十六日出發出張せしが十八日歸任する筈▲芳賀醫院長來光　總督府醫院長芳賀軍醫總監は十七日小鹿島慈惠醫院の開院式參列後十八日來光し管内慈惠醫院の視察を爲すべしと▲警務部長歸任　管内巡視中の靈澤警務部長は十九日を以て豫定の如く歸任の筈▲前田院長赴任期　平壤法院長前田信兆氏は來る廿日午前七時出發の自動車にて家族同伴出發の筈なり

大邱

▲物産陳列場開始　御大典記念事業として目下建築中なる慶北重要物産陳列場は工事及び内部の造作等の都合上六月下旬を以て開場する事に決定し居れる由なるが當日は政務總監の臨場を請ふ筈なり▲郡守郡參事會議　慶尚北道に於ては來る六月下旬郡守郡參事會議を催すべし▲高普記念祝賀會　大邱高等普通學校開校記念祝賀會は十六日開催鈴木道長官中參與官竹崎府尹其他臨場更らに京城より出張したる經學院提學子爵李容植氏の講演ありたり▲尚武館移轉建築　大邱東門町なる尚武館は上町在郷軍人集會所樓内に移轉すべく目下建築中なるが本月下旬竣成來月上旬頃移轉すべし

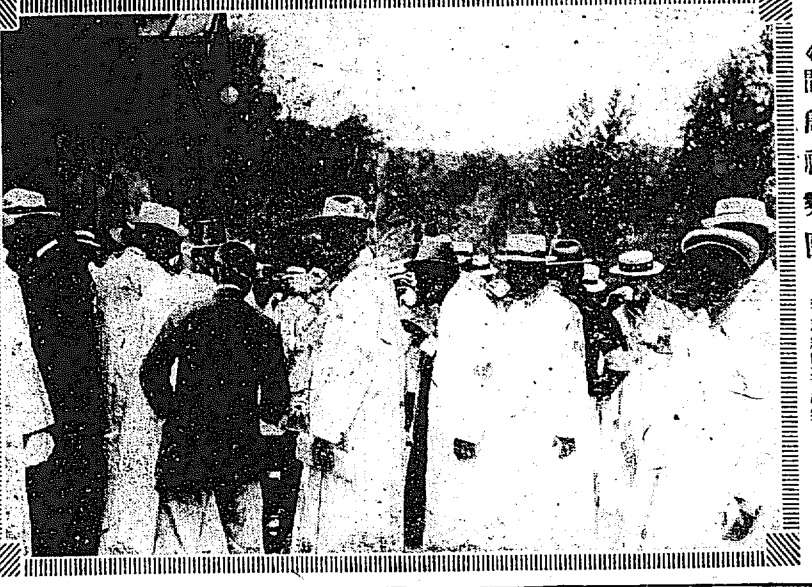
人事消息

▲藤原銀次郎氏(王子製紙會社取締役)　十七日入京朝鮮ホテルへ
▲臼井水城氏(代議士)　十八日入京
▲花田銀太郎氏(光州地方法院長)　二十日午前五時半公州發任地へ
▲淺田賢介氏(光州地方法院長)　二十日午後一時公州著任
▲前田忠氏(正金銀行大連支店支配人)　十七日釜山上陸午後十一時發北行
▲梅藤四郎介氏(李王職事務官)　十九日朝南發全羅北道へ

吉林途上口占　今關天彭

丘陵起伏路縱通、點綴人家楊柳中、馬自郁々羊自步、杏花開落午來風。
〇
旋風捲土土生渦、一道清流飲馬河、烏鵲巢懸楊柳樹、樹邊纍々古墳多。
尙ほ飲馬河は大門嶺、後のは飲馬河附近の實況なり

◎間島視察團 警務總監部視察



◎警察犬の捷い活動振りと

◇◇◇水管自動車の操縦に多大の興味を惹いた◇◇◇

間島視察團の警務總監部視察

入京中なる間島視察團一行は十八日午前總督府警務總監部等を視察せり一行七十餘名は午前十時頃警務總監部前庭の廣場に集まり先づ衛生課見島技師より

◇水質の實驗 を觀覽せしめたるが一行は興味を有つて環視し試驗の結果に依り泥濁物なき水は更に變色せざるも飲料に不適なる濁水は甚しく變色を來すを見て何れも肯きゐたり技師は之れに附隨して警察官憲にては常に各井水の實驗をなし飲料に適するもの不適のものを一般使用者に知らしめ殊に

◇昨今夏季に 向ふ折柄なるを以て猥りに生水を飲まぬこと等夫々注意を與ふる所あり終つて小熊警部指揮の下に南大門常備消防隊に出動を命じたるが水管自動車は警務總監部構內迄を僅か四分二十秒にて到著其れより八分許り遲れて同時に出發したる水管馬車到著し其他蒸氣喞筒、機械梯子等を陳列し團員に對して消防器具の説明使用法等を講話したる後簡單に器具機械の操縦を行ひたるに何れも

◇熱心に觀覽 したり終れば裏手構內にて警察犬を使用し種々の探偵捜査演習をなして供覽したるが犬の敏捷なるに頗る興味を惹きたる模様なりき斯くて一行は京城憲兵分隊に赴き巡覽したり

◎昌信洞の小火 十八日午前零時半頃京城昌信洞二百五番地洪……突を改築し之れが乾燥の爲め焚火し過熱の……るものなりと

◎籾船の沈沒

船夫一名遂に溺死す

全北扶安郡白山面八鶴里劉時鉉(三一)群山横田町金信用(四六)の兩名は帆船にて金堤より籾百十石を積み群山に向け航行中八日午前四時頃全北沃溝郡府邑面下梯里の沖合五丁位の海上にて暴風浪に襲はれて難破沈沒し籾百十石(八百八十圓)を流失し船體二百圓の損害を蒙り金信用は遂に溺死したりと

◎静岡縣強震

十八日午前四時静岡縣下に強震あり人家の倒潰即死者等を出し慘状を呈せり(東京特電)

◎自轉車 自動車と衝突

●●●土地調査局技手負傷す●●●

十七日午後六時五十分頃京城積善洞居住臨時土地調査局技手金東翼(四十)が自轉車にて東大門方面に向け鍾路三丁目を進行中折柄後方より南大門通一丁目李圭直營業の自動車十七號に運轉手李鳴鐸(二四)が清涼里行乘客三名を乘せ疾走し來りたるより東翼は自轉車を避けんと僅に方向を轉換したる刹那衝突するに至り東翼は電車軌道に打倒れ頭頂部に深さ骨膜に達する裂傷右鎖骨を骨折し外數箇所に治療一箇月以上を要する打撲傷等を負ひたる騒ぎに直ちに同人を最寄りの安商浩醫院に擔ぎ込み應急手當を施したるが自動車乘客には幸に異狀なかりしと

◎傳道舘で自殺

京城武橋町大工朴聖煥妻金姓女(三六)は昨年六月以降子宮病にて加療中なるも一向に効なきを悲觀し十四日午後一時頃自宅附近なる東洋宣教福音傳道舘の構內温突にて苛性曹達を仰ぎて自殺を遂げたり

夏場所

▲七日目の手捌

▲柏戸に龍ケ崎は烈しく突き合ひ互ひに危き所を殘して荒れ廻る內龍ケ崎に突いて押進むを柏土俵際に叩きしも龍の體落つる前柏踏切りしため龍の勝となる▲若島に岩木山は休●石山に鞆高山は互ひに下に入らんと突張つては押し合ふ內鞆高廻り込まんとして腰碎け尻餅を搗く▲藤の川に逆の矢は逆例の通り烈しく突張り藤の突き返へすところを十八番の素首落し極る▲紅葉川に大の高は紅葉烈しく突きかけ高の右手を引きかけ廻り込み突いて拂はんとするを再三高よく殘し最後に紅葉が又も右手を引きかけて廻り込まんとするを突いて反對に押切り高の勝▲鶴渡りに釋迦ケ嶽は鶴右を當てゝ押進むを釋迦その手を取つてトツタリを打ちしに鶴膝を突く

▲錦島に對馬洋 はバツタリ左四ツ互ひに右上手を引いて錦強引の下手投げを打つては寄りを試むる事三度び、對馬殘して吊らんとするを錦堪へて寄進み對馬が殘さんとするを捌ひ投げを打つての勝は大相撲●浦の濱に逆鉾は逆鋭く突きかくるを浦捌いて四ツに渡らんとしたるが逆嫌つて突き除け烈しく突張るを浦殘しつゝ左を差せば逆左手を持つて敵の腮を攻めて押進み浦が土俵を廻つて殘すを追ひ詰め押倒して勝

▲黒瀨川に源氏山 は源氏無二無三に突きがくるを黒瀨捌いて左を差さんとしたるが源氏嫌つて突きのけ突張つては叩き叩いては突張るを黒瀨土俵を廻つて殘せば源氏更に左手を持つて黒瀨の腮を攻めて押進み黒瀨が殘して押戻さんとする出鼻を右手を持つて素首落し美事に極り源氏の勝▲朝潮●に一港●は右四ツ直ぐ吊り出して朝の勝▲土州山に大錦は錦が前日大鳴門にシテ遣られたる翌日殊に土州は油斷のならぬ業師とて滿場多大の興味を以て觀る內に立ち上るや土州飛び込んで二本差となるを錦兩上手に挾みつけて唯一氣に押倒し勝

(中入後)

▲明●に大潮●は突き合ひ明右を差し內掛けに靠れんとするを潮突きのけ明が後を見せるを透さず逆り出して潮の勝▲鳴門洋に清瀨川は左四ツ清瀨寄るを鳴門突きのけ巻きかへんとする際突き落して清瀨の勝

▲琴が浦に常の花 は琴左を差して寄り進み常が巻きかへて右を差さんとするを琴差させずそのまゝ寄進み常が打棄らんとするを下手投げにて琴の勝▲八甲山に宇都宮は右四ツ八甲の寄鼻を宇都小手投を打ちしが極まらず八甲外掛けに靠れ込まんとしたるが宇都殘して大相撲となり宇都強引の上手を打たんとするを下手投げを打ち返へて八甲の勝●敷島に小常陸は烈しく突き合ひ叩き込んで敷島の勝▲大戸平に宮城山は左四ツ大戸の出鼻を宮城右手に大戸の首を巻いて強引の首投げに行きしが大戸堪へて腕を預けて浴びせ倒す

▲大鳴門に九州山 は鳴門突いて立つを九受けて右四ツ鳴門下手投を打つて寄らんとするを崩れかゝつて寄倒し九の勝▲眞砂石に駒泉は烈しく突き合ひ眞砂懐ろに突いて押進む駒叩く事再三遂ひに極つて駒の勝▲千葉ケ崎に栃木山は千葉突張つて右を差さんとするを栃木差させず右筈に當て左手に千葉の右手を押へかけて遮二無二押進み千葉が土俵を廻つて殘すを追ひ詰め突き放して栃木の勝▲伊勢の濱に兩國は左四ツ直ぐ吊り出して伊勢の勝にて打出したり(東京特電)

◎白熱せる仁川の選擧界

餘す處三日に過ぎざる仁川學校組合議員選擧戰は日を逐うて益々激烈になりつゝ有るが一時二十四五名と噂されたる立候補も二十八日午前に至りて加來、山下、淺井、川添、稻田、阪倉、淺、北島、大石、和田、高木、白神、後藤、伴、田中、平山、茂木、濱口、谷野、松田の諸氏にして右候補者の中谷野氏は十七日午後二時

▲許可の指令 ありたるを以て愈々立候補と確定したるが地盤は税關に約二十票の外土木局出張所及縣人會有志等にして濱口氏は一旦斷念したるも未だ未練あるらしく今に至るも起否分明ならずと雖も他派侵入の防禦に勵め居る模様美濃谷氏は依然立候補せずと斷言し居るも之れ結束堅固なる新町團の地盤となし居るを以て

▲何等の運動 を要せざる爲めならんと噂し居る者あり目下に於ける激戰地は宮町にして各派は一齊に殺倒し居る有様なれば牢固たる根柢を有し居る阪倉氏も苦戰狀態なり

▲選擧立會人 選擧立會には末永省三、飯田茂登雄、美濃谷榮二郎、河野竹之助氏を選任せり

◎仔猪六頭生擒

黄海道谷山郡東村面達里附近の畑地を五月三日午後二時頃一頭の母猪が數頭の仔猪を運れ通行中を農事中の里民が發見し大擧して包圍したるに親猪は逃走せしも仔猪六頭を生擒し目下飼養中なりと

◎江原道の野火

江原道淮陽郡下初北面鐵嶺里の國有地より去る三日午前十時頃發火し二十七名の農民消防して十三町歩(損害三十圓)を燒失して同日午後七時鎭火せり

◎面事務所發火

黄海道新溪郡美水面事務所より五月一日午後五時半頃發火し里民七十餘名集まりて消防したる爲め一棟半燒したるのみにて公金帳簿等に損害なく同六時五十分頃鎭火せり原因は小使金京化の連子林初才(一八)が温突に焚火中風に煽られて發火したるものなりと

◎豺を撲殺す

平北義州郡批峴面馬山洞鄭宅基(四〇)方に九日夜一頭の豺侵入し豚を拉し行かんとするを認め棍棒にて一撃に撲殺したりと

◎慘死

仁川寺町鄭仁秀(三五)は十四日午前八時頃築港船渠外堀鑿工事に從事中土砂崩壊して打倒れトロツコの爲めに頭蓋を打壊かれ非業の慘死をなしたり

◎突倒して逃走

京城崇三洞牛肉行商金億釗(三六)は十三日午後四時頃自轉車にて鍾路四丁目を疾走し薫井洞李順五二男李龍洙(七つ)を突き倒し左腕外二箇所に擦過傷を負はせながら逃走し巡査に追跡され治療費を支出せり

巨刹釋王寺(二)

▽金石翁の佛畫 ▽內禪院の牡丹

遲日静かに——元山の海も一時に——風鈴の聲と花ばかり

◇釋王寺の大伽藍は清らかな溪流にのぞむ小高い山ふところに寧ろ窮屈に見ゆる、不二門といふ穹窿形の橋のあたりから見あげると萌え立つやうな櫟樹の葉がくれに物さびし山門と丹碧の禪堂が繪のやうに浮ぶ、打ちあふぐ晩春の空にはまた雪峰山の峰が屏風のやうに衝つ立つ。

◇寺の本尊は大雄殿の阿彌陀佛、その前に在る泛鍾樓といふのが此の寺一番の古い建造で李朝初期の建築としては最も見るべきものであるといふ——當時はまだ木工にしても高麗朝末の優秀な腕前を有つた者が多かつたと見える

◇さてまた釋王寺の名物には寺の大僧金石翁が控ゑて御座る、和尚は小僧の時から此の寺に育ち繪筆をとつては佛畫を畫く、その中の傑作は今年雪峰山の松籟を歌と聞いて育つただけ自から成る氣品が備はるし曾て英時人のヨネ野口は和尚の佛畫を愛好して措かず親友の仁生和尚(元山の禪寺法秀寺)を賺しては大分手に入れたといふ事である

◇寺の名物にはまた菩提樹の一株がある、これは海藏殿の前に茂つて丸いその實は山僧の珠數に用ひられるは寺に得難い眺めであらう若しそれ昔日の躑躅と牡丹に至つては李王殿下のお宿となつた明殿の庭に白の老樹が大きく茂りまた谷には白い花、紅い花いろ／＼な花が咲き匂ふ

◇それにまた一度寺から奧の內禪院に登れば九町の松林は清流の聲と小鳥の囀き聲、花には黄い花、紫の花白い花、可愛らしいリーー、オブザバレーの花も咲きみだれてゐる

◇內禪院には牡丹がある、桃がある梨がある、それがみな遲日のしづかに咲きみだれて靜かな寺には風鈴の聲と蜂のうなり聲ばかり、これから更に十二三町登れば香積庵といふのがあつて其處からは元山の海も金剛山連峰も皆見ゑるといふ

◇釋王寺の寺は夏はよからう、秋もよからう、水は筧から白絹と流れて大きな巨木の水槽にあふれる、米も巨きな木をくりぬいた米櫃に入れられ、椀も木をくつた中に梵字を記したものを使ふ、温突は薪木が多いのでいつも暖かい(つゞく)

簾のうち

▲梅鶯會の春季大會が濟むと今度は龍山のむつみ連の八景園で祖太夫の病氣全快祝ひを兼ねた大會をやるさうだが仲々お盛んな事だ▲病氣と云へば是れも永い事患つてゐた奈良梅が大會に勇氣を振つて野崎を語つたが何んと云つても親子、糸の梅若と息が合つてゐたのでアノ野崎は近頃の聽き物、例に依り奈良梅一流の型ではあるが昔取つた杵柄、あれだけ語れば歯が拔けても心配は入らぬテ▲是れから涼しい淨瑠璃季節になる、各部屋でも負けぬ氣でお浚ひをやつてほしい

(文藝欄)課題及募集規定

募集規定 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の選……

客 五月十八日 ……

五月十七日午後十時釜山入港對馬丸 ……

天氣 晴れ時々曇り 五月十九日

商況

債券現物特電

東京 十八日(川來値)

朝鮮殖産債	六八、五〇
京城電氣	一八二、〇〇
朝鮮鐵道	一四七、三〇

公債直取引

東京 十八日 出來値

五分利	九七、九〇
四分利	
甲號	九七、七〇

深川在米特電

十八日現在高

朝鮮米	一七一、四〇三
外國米	五七、二四九
內地米	一六九〇、六五五

東京期米特電

十八日前場 五月限 一八、四二〇 一八、四三〇 一八、二六〇

大阪三品特電

十八日前場 綿糸反撥綿布先物七圓

大阪期米特電

十八日前場 五月限 二三、四八〇 六月限 二二、七〇 十月限 二二、七五

下關期米特電

十八日前場 寄付 一七、〇一〇 高値 一八、〇〇〇 安値 一八、四〇〇 止め

雜報

◎滿鮮大豆騰貴

內館 滿洲各地に於ける大豆は斯及び滿洲各地に於ける大豆は斯く昂騰しつゝあり昨十七日大連市場現物は四圓五十錢を報じ前々日より約落ちたれど其他先物は總て昂騰し八月限四圓六十一錢七月限五十九錢八月限五十八錢九月限五十七錢にて

高値に十五六錢苑の

六月限の各先物も之れに傚ひ十八日の各先物相場に比較して現物は四圓九十一錢に廻り丁度に比較すれば各六十錢內外の騰貴なり……

大抵九圓臺に達し

……

◎倘一段引き締る

……

◎鮮鐵滯貨疏通す

……

各沿線の滯貨は殆ど

……

出自由となり各移出品の積

……

滿洲大豆及び粕類は南下すべきか

……

◎洋釘一部昂騰

……

◎皮革類軟調

約四圓內外の下値

……

◎甲皮類に至つて

……

◎意氣消沈の傾

……

◎白米更に値上

十八圓四十錢に付 五十錢方引上

……

◎滿洲粟引締む

……

◎吳服物の昨今

……

引締めたり

……

在荷意外に多く 移出不引合

……

◎牛脂は沈滯 依然沈滯

……

◎骨粉は好況

調合肥料用の需用增加 一萬六千貫

……

◎鉱力板引締む

八十五圓賣を敢行

……

◎鑄物類下押模様

幾分下押模様 製造に著手

最近又二三分方騰貴

……

料に乏しく內地製釘の材

一噸三十圓內外 七分五厘

……

◎ゴムの需給

一萬五千圓に達し

……

其他實用向

織物より割安

……

仁川期米(臨時休會)

▲十八日前場 ……前場臨時休會

▲十五日後場より十五十六日の後場迄休會したる市場も漸く十七日の前場より立會を開始さるゝ事となりたるに……十五圓三十五錢と沸騰し……更に一段相場を煽りふらん氣勢を示したれば取引所は……本日前場以降臨時休會……臨時休會の旨を掲示し……立會を開始する……危險……凝議中なりといへり……

下關相場

……

京城正米

大抵一割五分位の上値

……

南大門の廻穀

……

釜山穀物(十七日)

……

生魚市場

……

青物小賣相場

……

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 齋藤宗之助 電話長三六七・三六九・七〇 略號(ヤマサ)(サ)又は

仁川米豆取引所仲買店 主任 西川平治郎 電話長一五八・長一五九番

確實迅速 仁川海岸町 取引所仲買人 廣澤正次郎

◉宇垣將軍と語る

旅行の目的は滿洲戰跡見學=滿洲の三女傑五龍背のお玉=鮮滿鐵道統一問題今日は遲い位だ=砲兵工廠問題平壤と京城と何れ

參謀本部第一部長陸軍少將宇垣一成氏は十七日午後三時三十分著列車にて平壤を通過し滿洲に赴けり平壤支局記者は將軍を黃州驛に迎へ入りて同車を通ずれば赭顏肥滿の將軍は

◆光眩ゆき參謀肩章を捲いた右手を擧げて『マア掛けたまへ京城では貴社の阿部君に一寸會つた、態々有りがたう、僕が滿洲に往くと云ふので何か滿洲に事件でも起つたかの如くあちこちで新聞記者の訪問を受くるが今度の旅行は何等深い意味のあるのではない參謀本部及び各師團の參謀將校二十名が本月二十日此地を通過して滿洲見學に出掛くるのだ僕は其先發者で何れ彼地に往けば

◆日清日露兩戰爭の戰蹟を見せ當時の戰術及び軍事上の研究を爲しむることだけの用務だ僕は今夜五龍背まで往つて温泉に一泊したいと思ふが君は五龍背の温泉に往つたことあるか』と記者を反らさぬ挨拶其處で記者は『五龍背には再三遊んだ事があります殊に彼處の女將お玉は滿洲に於ける名物女で面白いですよ』と答ふる將軍はニコ〱として『サア其女だ何でも我々中間では長春東洋館の女將奉天名古屋館の女將其から其お玉女將だ其れを名づけて滿洲の三女傑と稱してゐるが今夕は

◆其女傑に逢へる譯だな』と呵々大笑『僕は今夜ユックリ温泉に浴して東京出發以來の垢を洗ひ明日は奉天に其れから順次長春、哈爾賓更に南下して滿鐵沿線の視察をするのだ歸りは來月の末頃だよ……滿鮮鐵道の統一問題か……あれは已に決定してゐる今日滿鮮鐵道の統一は遲い位だ商業交通の上から云つても此統一の出來た以上は非常の便利なるのみならず又我々の方から見ても

◆至極結構の事と思つてゐる君は平壤に居るのか平壤は良い處だ僕は日露戰役の當時鎭南浦に二十日許り滯在して居つて平壤は知らなかつたのだが昨年滿洲視察の途次平壤に立ち寄つて牡丹臺及び船橋里等の古戰場を尋ねた實に平壤は良い只風景等より見て良い許りでなく平壤は朝鮮の大工業地と云つてよから大同江の水は洋々として附近物資の供給は充分であり殊に大同江の東一帶の平野は

◆將來事業家の奮發次第で多大の發展を期し得らるゝと思ふウム砲兵工廠問題か彼問題につきては先般筑紫兵器局長が此地方に來たらう何でも特別議會に提出せらるゝ運びにはなつてゐるさうだ今日に於て京城になるか龍山になるか其問題は明に知ることを得ざるも僕等の考としては兎ても京城の如きは適地でない

◆假に工場を永登浦あたりに持つて往くとしても材料を得る點に於ても不便であらうし又廣いと立つても狹い京城は工業地として發展の餘地ないと思ふ其れに反して平壤は交通の點より物資供給の點より殊に廣漠たる平野を有する點より見て適當と思ふ殊に大同江の水は平壤に取りて大なる恩惠であるといはねばならぬ何も京城には漢江もあり敢て大同江を有する平壤をのみ羨むるのは見當がちがふ僕であるが聞くところに依ば大同江の水には

◆工場地として慥に良いとのことである大抵は平壤に持つて來る樣になるであらう』と語り更に平壤に於ける工業は……』と問はれた記者は無煙炭耐火煉瓦製糖製肥セメント等の諸事業を話した將軍は『自然に發展し行く平壤は誠に望多い而上平元鐵道の敷設を見れば更に大なる發展を見るであらう』汽車中和を過ぐ頃車窓より平壤附近の大平野を展望し『黃州を中心として

◆黃海平南の平野は實に廣い更に大同江を渡りて滿川附近の平野に至らば更に廣い此の如き平野は内地にも見ることは出來まい此處で特別大演習でもやればサゾ愉快のことであらうと思ふ』汽車は平壤に著いて記者は辭した(平壤宇山生)

◉仁川地方 果樹類の寒害

桃林檎葡萄は五割以上

本年の結氷期間中は寒氣激烈で十數年來嘗つて經驗した事が無いと言はれた程であつたから、草木にして寒害を蒙つた者は尠くない、左に仁川府管内に於ける果樹類の被害狀況を記せば

♣水蜜桃及櫻桃 桃は平壤及び中和方面では殆んど凍傷して花を開かなかつた相であるが仁川でも寒害が甚しく北に面した寒濕の土地に植栽された果樹園の天津水蜜桃は約過半數の凍傷を見櫻桃は七分方の被害で甚しきは枯死した者さへあつた

♣林檎も亦甚し 林檎は桃に比して被害の程度が幾分輕いが花蕾果枝の枯死した者は約半數に達し就中紅玉の被害は頗る多い模樣である、莖花の狀態を檢するに比較的寒氣に强い古枝に多く新枝には殆んど花を見ない、然し土地の狀況に依つて果枝の枯損せない所もある

♣收穫無き葡萄 管外なれど平山東山兩農場に於けるカリホルニヤ種及び其の他葡萄は昨年夏季に於て降雨が多かつた爲め收穫八割減と言ふ悲慘な狀態で轉た栽培難を喞たしめたが本年の嚴寒には幹枝全體を土砂で覆ひ充分防寒の方法を講じたにも拘らず殆んど枯死して本年の收穫は絕望の外は無との事である

♣被害少き梨樹 前記の如く桃林檎及葡萄の寒害は甚しい者であつたが梨は寒氣の影響を蒙る事少く前年に比較して別段異狀を認めない要するに本年の嚴寒の爲めに果樹栽培が極端な不成績に終る樣な事になると昨年の虎疫に大打擊を蒙つた果樹園經營者は損害を再び繰返す事になるのであるから同情に堪へない次第である(仁川)

◉害蟲驅除注意

仁川府廳では管内果樹栽培者に對し害蟲驅除に關する(一)害蟲名(二)害作物名(三)被害地名(四)驅除豫防施行の期日及び要領等に就いて來る十日迄に報告すべき旨通牒したるが害蟲驅除の方法を揭ぐれば

▲綿蟲驅除法 果樹類に綿蟲發生したる場合は發芽前には石油一升水五合石鹸十二匁乃至十五匁の割合にて調合したる石油乳劑の五倍乃至十倍液を枝幹に塗抹し發芽後に在りては十倍乃至十五倍液を被害部に塗抹又は灌ぐべし根部被害の場合は掘取燒却し其跡には苹果樹を栽植すべからず被害甚しき樹は之を掘取燒却するか或は其枝を剪取燒却し又は發芽前青酸瓦斯の燻蒸を行ふ可し

▲介殼蟲驅除 發芽前には石油乳劑の五倍乃至十倍液を枝幹に塗抹し其餘は綿蟲と同樣の驅除法を行ふ可く黑金龜子は夜間成蟲來襲の際を見計らひ適宜の受蟲器を樹下に置き拂ひ落して石油又は熱湯を注ぎ殺す可し因に害蟲の繁殖は頗る旺盛なるを以て果樹栽培者は此際極力驅除すべし(仁川)

◉幼名を廢せよ

朝鮮人に對する注意

朝鮮人は從來兒童の幼名を長蘭、千蘭、言蓮、兒其、老末、自斤釗、斗巨借、道也之、白片男、巨福伊、皆連伊、釗東伊、宜也之、音前伊、渉々伊、宜分伊、小乭、氏乭、自斤乭、釗乭、千乭、萬乭、先乭、後乭、卧乭、龍所回、所回、五十同伊、老馬老麻等の幼名を名乘らせ成人してから改名する習慣があつた爲め民籍に於て特殊の場合を除く外改名を許さない昨今でも尚ほ舊を革めず往々改名屆をする者が多いから仁川府尹は法令週知會に於て懇々と法令の趣意を訓示したが尚一般に注意して右樣の不注意の無き樣せられたしと(仁川)

◉お辨當の研究

主婦の心配=握り飯と梅干=夏と冬=麵麭は輕便=中流以下の家庭

一家の主婦なり又は母親として毎日頭を痛めるものは御主人やお子供達の御辨當であらうと思ひます、昔は御辨當と云へば握り飯に梅干で濟んだものですが今日では生活の程度が變化したと云ふものゝそれでは濟まなくなりましたそこで成る可く經濟で衞生的なものを

◇毎日種類を かへて美味しく食べさせ度いと云ふ心から些細な事のやうではありますが日々の心遣ひは大抵ではありません今日家庭に於て重大な研究問題となつて居ります。單に衞生的であると云ふ點から考へると、從來の辨當は夏は腐敗のおそれがあり、冬は折角温かい御飯を詰めて行つても、晝迄には氷の樣になつて若し斯樣なお辨當をその儘食べるならば激く胃を刺戟して

◇消化不良は 勿論胃を害したり一時發熱を催す事のあるのは往々小學校などで見る實例であります新鮮などでは殊に此邊の改良或は之に對する設備等を考へねばなりません。其他汁が出るとかお辨當箱を忘れるとか云ふ不便があります。其點から申せば麵麭かサンドヰッチの樣なものは至極便利だと思ひます[illegible]

◇日本の家庭 で一般に用ひられて居る[illegible]て居るわけではありません爲めに或場合中流以下の家庭としては却て不經濟の事もありますそこは何とか考へる事が出來ぬでありましょうか研究を要する問題であります

◉素謠會

京城觀世松風會にては前記の如く羽山尚徳氏去る三月滿期となり後任として他流宗家の推薦に係る山中梅瑚氏此程來着に付初番に於て素謠會を催す由右披露の爲め來る二十日午前九時より本町一丁目[illegible]に於て[illegible]如し因に山中梅瑚氏は斯道の大家[illegible]高弟なるが他に細川流盆石茶湯生花等の道に通じ希望者には教授の勞を執る趣なり 高砂(田村)鞍馬天狗(松風)草紙洗小町(花筐)鉢木舟辨慶(經正)外に山中梅瑚氏の安宅獨吟其他あり倘仕舞等臨時組入

◉植物園の演奏會

昌德宮植物園にて例に由り二十日日曜日午後一時より同四時迄(雨天なれば中止)李王家洋樂隊演奏あり其の曲目左の如し

一、コルムボ行進曲(アサン作)二、序曲「ルテチノ曉」(アカペル作)三、圓舞曲舞踏帝王(ステラウツ作)四、歌曲マルタ娘子(フロトウ作)五、舞曲六段(未詳)六、「カテリン曲美しき人」ヘレチ娘子(ステラウツ作)七、序曲饗祝(ロルチン作)八、遊蕩子舞踏行進曲(ローイ作)

◉むつみ連初會

龍山むつみ連にては師匠竹本祖太夫病氣全快祝ひを兼ね來る十九日午後正七時より龍山八景園に於て春季大會を催す由入場料下足一切不要なりと語り物次の如し

▲御祝儀の入船(入登)▲鈴本太功記十段目尼ヶ崎の段(相朝、三味線さかね)▲御所櫻三段目辨慶上使の段(奕登)▲菅原傳授手習鑑四段目寺子屋の段(花月)▲卅三間堂棟木由來平太郎住家の段(八景園吉奴)▲戀娘昔八丈城木屋の段(八景園小きん、ツレ引玉糸)▲本朝廿四孝十種香の段(八景園初子)▲心中天の網島治兵衞内の段(石水)▲傾城阿波の鳴門順禮歌の段(玉糸)▲近頃河原の達引堀川の段(兒童三味線奕登糸)▲伊勢音頭戀寢刄油屋の段(若、三味線)▲勢州阿漕浦平治住家の段(出若、三味線鶴糸)▲三味線竹本祖太夫、一葉さかね

◉鈴木天水の療法實驗

入京滿洲巡遊中なる印度大山身教育講談師鈴木天水氏は十七日午後京城府廳に於て左手を以て病氣療法の實驗をなしたり

◇夏向きの半襟◇

ネルやセルの輕い召物から單衣の頃にかけて相應しい夏襟は、昨夏の流行と大分趣を異にして地質は餘程柔かく

▽色彩は グッと濃くなつて參りました鶉縮緬はもう廢れてしまつて細かい錦紗ちりめん風の堅絽及び絹縮みの堅絽にのみ限られ、地色は御納戶、近衞藤、濱淺黃、萌葉、若竹、鶴羽納戶などの强い

▽明るい 色が好れて來ました。御殿藤と近衞藤は今迄の藤色に幾分か葡萄色を加へたもので、近衞藤の方が稍濃いのです。萌葉は皆萌葉より心もち錆たものです。若竹は破に黃味をもたせたもので鶴羽納戶は鳩羽系統から出た色合です。

▽濃い色 で今夏の最も新しい試みであります。茶系統には柳茶、朽葉色、遠州茶などがありますが、これは年増の方ならば兎に角、若い方の華やかな顏色には餘りうつりの好くない色でせう卅歲前後から

▽四十位 までの方には千家鼠、龍鼠などが上品です。模樣は春からの流行の餘波を受けて、一般に撫子、桔梗、紫陽花、小萩などの小花式が歡ばれ

▽粹向き としては、算盤つなぎや木目式などが迎へられて居ます。お上品好みですと水草に小波を金絲銀絲で色どつたもの或は赤味紺地に、斜藤の型のあつさりしたもの古代更紗形を

▽涼し風 に置いたのなどいろ〱あります。それから白、黑、鶴羽納戶、若竹、肉色等の五色で青海波を染ぬいたものや、朽葉色に黑と銀で柳を斜に出したもの萌葉の地に

▽遠山を 金で配らひ、白と肉色で撫子に夏菊を縫ぬいで現はしたものなどは、斬新な意匠として若い御方にはお恰好向きです。

京城府公文

府協議會ノ諮問ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ府稅特別稅條例中左ノ通改正ス

大正六年五月十八日

京城府尹 金谷充

京城府條例第三號

大正三年京城府條例第十一號府稅特別稅條例中左ノ通改正ス

第二條中「一料理店業」ノ次ニ「一貸座敷業」ヲ加フ

第四條中「一藝妓」ノ次ニ「一娼妓」ヲ加フ

第五條第一項中「料理店業」ノ次ニ「貸座敷業」ヲ加ヘ雜種稅ノ部中左ノ如ク改ム

藝妓ヲ左ノ如ク改ム

藝妓

一等	年齡十五年以上	月稅金五圓
	年齡十五年未滿	月稅金二圓五十錢
二等	年齡十五年以上	月稅金三圓
	年齡十五年未滿	月稅金一圓五十錢

娼妓

一等	月稅金二圓
二等	月稅金一圓五十錢

自働車ヲ左ノ如ク改ム

自働車	定員四人以上 營業用一輛ニ付	年稅金五十圓
	定員三人以下 營業用一輛ニ付	年稅金三十圓
	自家用一輛ニ付	年稅金二十圓

人力車ノ次ニ左ノ如ク加フ

自働自轉車一輛ニ付 年稅「金十二圓」ニ

犬ヲ左ノ如ク改ム

第三號 一箇年ノ賃上金額五百圓未滿ノ營業 又ハ收入金額 報償金額二百圓未滿

第八條中「自働車」ノ下ニ「娼妓」ヲ加フ

第十三條 自轉車、荷積車、自働車、自働自轉車、犬ノ飼養者ハ屆出ニ依リ鑑札ヲ附與ス但シ自働車、自働自轉車ニ付テハ府廳ニ於テ物件ニ之ヲ附著ス

犬ノ鑑札ハ常ニ頸輪ニ之ヲ附著シ人力車、荷積牛馬車ノ鑑札ハ使用ノ際之ヲ携帶スヘシ

屆出ニ依リ府廳ニ於テ物件ニ檢印ヲ押捺ス

鑑札亡失毀損シ又ハ檢印ノ摩滅シタルトキハ直ニ之カ再交付ヲ受クヘシ

鑑札ハ貸借譲渡スヘカラス但シ其物件ト共ニ譲受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ノ二 鑑札又ハ檢印ヲ受ケタル物件ヲ廢滅シ又ハ讓渡シタル者ハ其ノ鑑札ヲ返納シ又ハ消印ヲ受クヘシ

第十七條 第十三條第一項第二項ニ違反シタル者又ハ第三條ノ規定ニ違反シ鑑札ヲ剝脫シタル者ハ五圓以下ノ過料ニ處ス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本條例中年稅ニ在テハ大正六年度第一期分ヨリ之ヲ施行ス

本條例施行ノ際自働車ヲ所有スル者ハ施行ノ日ヨリ十四日内ニ自用營業用ノ區別ヲ屆出ツヘシ

本條例施行ノ際人力車、荷積牛馬車ヲ所有スル者ハ施行ノ日ヨリ三十日内ニ檢印ヲ受クヘシ

本條例施行ノ際鑑札ノ引換ヲ受クヘシ

前三項ノ規定ニ違反シタル者ハ五圓以下ノ過料ニ處ス

…と五圓の内一圓を燒毀したるのみにて二十分の後鎭火せり家具の破損其他にて損害約十五圓なりと原因は溫…

壬辰丸一二等客 …

新羅丸一二等客 一等(十五名)岡島非平、石渡泰三郎、大城戶宗武、西川光太郎、澁谷良子、同文子、同良子、菱田勝雄、青木政三、同秋子、同喜子、同節子、同…

五月十七日午前八時四十分釜山入港

▲何者何號ヲ明記ニ限ル ▲通告者には五十錢の…

新菓發賣 金剛山(松の花製) 京城本町 電話四七五 龜屋商店

▲各種萬年筆修繕▼ 振替口座京城三〇〇番 京城日報代理部

月やくぐすり 每月丸

月經不通を快く通じ 月經不順を快く調へ 月經困難を快く治す

月經の滯を通じ、月經不順に伴ふ子宮血の道、便秘、頭痛、氣鬱、逆上等を良治す。又持藥にせば惡血を下し、子宮病を治す。

藥價 半週分貳拾五錢 一週五拾錢 二週壹圓 三週壹圓四拾錢

本舖 丹平商會藥房

給仕女入用 年齡十五六歲より二十歲位迄(但し月收二十四五圓あり)希望の者は電話一二三番に照會の上本人來談あれ

池坊生花大會 來る十九日二十日兩日南山本願寺に於て 縱覽御隨意 大日本准總華督 原賀七星堂社中

內科、眼科 小兒科 本田醫院 院長本田進 京城黃金町三丁目 電話二四四三番 振替京城三二八番

痔核。痔瘻。脫肛痔。裂痔。痔出血。直腸脫 本田醫院附屬 京城肛門療院 肛門病の話 附痔疾特種注射根治法 解說書入用の方は郵券十二錢を添へ

旅行用具一切 ◆鞄製造(お好みにより如何樣にも調製可仕候) ◆柳製專賣品トランク ◆洋傘(本年流行新荷著)各種 ◎其他車夫用雨合羽防水布雨具ゴム引マント 魔法瓶及中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

醫化學器械一式 Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番 京城永樂町本町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

藥種賣藥卸商

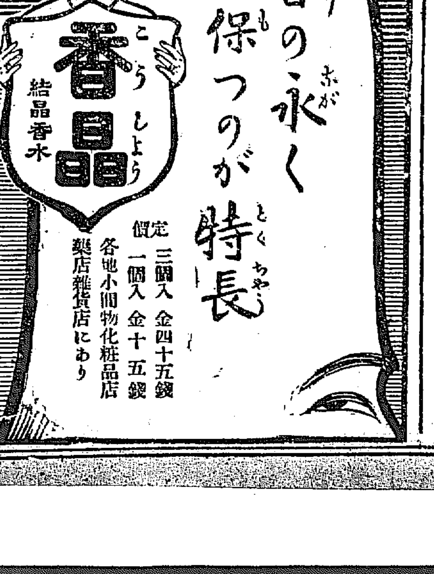
內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

株式會社第一銀行京城支店 資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千〇五拾五萬圓 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番) 支配人 西村道彦 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候 明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

各種萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

魚釣具 投網 綿糸 麻撚糸 柿澁 卸商 京城永樂町二丁目 吉備商會 振替京城四三二八番

電話開通 電話三一四番 御申越次第定價表進呈 市內は電話にて御問合を願ます



內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目(品商陳列館前) 電話六一三番 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三雄

明君道中記

第百四十九席　田邊南龍口演

本多上野介正純は却々の技倆人で駿府大御所公の傍にあつて仕へて居つた程でございますが、偖斯うなると決心がつかぬものと見え川村靱負の意見を聞いて何と言葉もなく下差俯向て居ります。靱負はもどかしく思ひ前へ進んで靱『御城內の秘密露顯をいたす氣遣ひは無いと仰せられますが、既に今日江戶表より安藤重長が將軍家御上使として罷越しました、如何なる上使なるか存せぬが只今のには相成るまじく五萬石三萬石は殘り申すべし、何事も本多の御家の絶えざる樣遊ばさるゝが御先祖への御孝行と存じまする』上『コレ〳〵其方は年老いて心も鋭く相なりしと見ゆる、左樣に物を考へては叶ん、安藤重長如何なる用件を帶びて參つたか兎に角對面いたして其の用談を聞き、次第によらば上使を追蹴して又他に考へることもある。それを何んだ臆を切れの少しも早く落命いたせとは

樣子を見受けると、仙臺の同勢前後を守り當城內へ入るの樣子、察するに是は主君を欺いて江戶表へ召伴れんといふ安藤重長の志かと存じまする、今天下は泰平とは申せ時としては血腥き風の吹きまする折柄茲に軍勢を繰出して戰をいたす事になれば其が爲土民を苦しめるの道理、依て伎倆優れたる者を見立て此地へ遣はし主君を說いて江戶表へ召伴んとするに相違なく勿論主君一人にはあらず、出羽山形上州厩橋へも同じく使節の乘込んで參つたに相違なく、事露顯に及び捕押へられて繩目の耻辱を受け其上家を失ふこと、此の上もなき恥辱なれば、不肖ながら靱負御介錯を申し上げます、願くば速に御生害遊ばされ度、左すれば改易……』上『予は徒に犬死はいたさん』とそれ程思案なき上野介でもございませんが何うしても靱負の言葉に從ひません乃で靱負は倘も膝を進めまして靱『決して犬死ではございません、且多き役人の中にて見立られ當城へ罷越たる重長天晴器量有者と心得ます、辯論を爲して若し彼の爲に說き破られ網乘物にて江戶表へ送られなば此の上も無き本多家の恥辱、さゝ少しも早く御生害遊ばせ』と川村靱負が頻りに勸めましたが何うしても腹が切れない、面倒と思つたか靱負の隙を窺つてソッと其の坐を立つて奧に入りました、偖はと靱負は捕押へやうとしたが押へる暇がございません、淚を流して『あゝ是までは天晴なる名將にておはしたが如何なれば斯く迷ひの雲に覆はれ給ふしか、是非に及ばん自分は先に參つて冥途の先驅を爲さんと我居敷へ立歸りました、家老ではあるし平常心懸けの宜い靱負のことであれば屋敷なぞも大層立派でございます、子息は四年以前に病死を爲し配偶者は疾にございません、十四歲に相成る千之助と其の姉のおむつといふ二人の孫を養い居りまするのみ男女召仕の者を呼出て靱『今日其方共へ申渡すが次第に依れば當宇都宮へ血を流す樣な事が出來致す其れに就て當家に居ては相成らんから只今より暇を遣はす故何れへなりとも退散をいたす樣に』と聞いて一同大きに驚ぎ○『左樣なれば何でございますか只今より宿へ臥つても宜しいので』靱『あゝ仔細は無い、就ては退物として其方共へ遣はすから女共は何でも手當り次第に衣類道具勝手に持つて參れ、又男子は武具が入用なれば鎧兜の貯へもある故其品を持つて參れ永居をしては危いから今の間早く退散いたせ』○『へヱ恐入りました、左樣なれば刀脇差の類を頂きとうございます』靱『何でも構はんから早く良い物を持つて行け』と家內中は大騷ぎでございます

齒科診療　野田齒科醫院
齒科醫士 野田鹽治
本町一丁目三越向 電話一〇四七番

暦

五月二十日 九星
曆三月三十日 壬戌
本命八白 良 破 友引

▲八白 戶まさいする事有る日 注意新事見合草方は吉 嗜慾良 ▲九紫 大捷の日 轉居旅行入門名弘求職出酒會談藝既應定期取引等萬吉 ▲一白 あさ疎儀の事有る日 注意新事手控事務を植へるは吉 ▲二黑 一勝一敗の日なれども新事控目の方吉 普請土工は妨げなし ▲三碧 不平たらしの事有る日 新事手控事は吉 爭ひを防がるべし ▲四綠 無勞れのすること有る日 新事手控事は吉 衛生に注意せらるべし ▲五黃 昇まり損ふ事有る日 新事手控 普請は吉 保證運搬等せぬがよし ▲六白 富貴の日 轉居開業名弘求職築治婚姻大なる金融等吉 ▲七赤 悪腐の日 轉居行商入門名弘求職金件出漁獵 [illegible]

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
櫻井町 電話八七三 **大正館**
▲五月十九日より新寫眞提供(入場料普通) ○寶庫歐洲美人風俗 ○喜劇先生のピアノ ○米國キーストン會社秀作 ○滑稽活劇チャプリンのなぐり合ひ(全二千呎) ▲尾上松之助以下全員大車輪 ○史劇上野戰史天野八郎(全三卷) ▲米國ユニヴァサル會社傑作世界的連續大寫眞 ○軍事活劇第十二快漢ロロー(第十九、二十編最終四卷上場) ▲約三箇月に亙り連續大好評を博した本寫眞は愈々今週を以て全部完結せん [illegible] ○新派悲劇いろ姿(全三卷) [illegible]

京城壽町 電話五七八番 **壽座**
大坂歌舞伎中村梅昇一行
▲十八日替り藝題 ▲明十九日藝題
▲前 親山古郷の錦繪 六場 ▲中 三勝半七酒屋の段 ▲切 白木屋
一等六十錢 二等四十錢 三等三十錢 四等十五錢

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
電話 六五二 二六三七 **黃金館**
五月十六日より新寫眞大提供 天活會社本月の新撮影 故川上音二郎先生立案、故藤澤淺二郎先生脚色、村田正夫一派大車輪 明治九年西南役前の出來事 ダンナアイケナイ ▲史劇 神風連 全二十七卷 明治九年熊本に神風連なる一群あり文明軍に對する其當時神風連の悲憤不幸の戰死を遂げたる櫻田陸軍少將の敵が仇討せると云ふ美談 ▲社會劇 船上の大秘密 原名地海の難破船 ▲笑劇 呪の名 丸山南甫、小田晩風、櫻田蓉脇 ▲舊劇 馬追太郎助 全三卷 [illegible]

御成町 電話一九一 **御成座**
都新聞連載 ▲辨天春子 中村正男刑事の苦心 ▲柳生漫遊記 新派講談師 神田伯門人 神田忠男 ▲豐臣出世鑑(浪花節) 廣澤菊榮 出演

東京小林商會新劇一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約
早川演藝部直營 **有樂館** 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番
▲五月十八日より特選映畫提供 ○喜劇 ビル君とトランク ○泰西人情劇「ロッキー嵐」全三卷 [illegible] ○新派社界劇 廻る運命 全三卷 [illegible] ○曾我物語 全八卷 [illegible]

●マラリアに一番 ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の **マラリア特効丸**
價 金十錢 三十錢 五十錢 郵税二錢
セモノアリ御注意
本舖 龍山㊐林藥房
代理店 京城本町一丁目 山岸天祐堂

ぢの藥
内用 **清痔丸** 外用 **清痔劑**
兩劑を併用す面白い程能効く
價 内用 [illegible] 外用同價
本舖 名古屋京町 荒川長太郎
全國到る處の藥店に販賣す

一代に百萬の富を作る決して難事に非ず

予が現に實行しつゝある利殖法
何人にも容易に實行し得る方法

株式會社宮强世界社專務取締役 大迫利亮

▼金は誰にも出來る

[illegible]

▼成功致富の實例多し

[illegible]

▼金の出來ぬ理由なし

[illegible]

▼天下の富豪金利を恐る

[illegible]

▼百圓の資本で百萬圓

[illegible]

▼一日五厘儲ければ宜し

[illegible]

▼決して實行難に非ず

[illegible]

▼貧乏人續々蹶起す

[illegible]

▼貯蓄投資講義錄の發行

[illegible]

▼空論に非ず實際的

[illegible]

▼會員には永久指導

[illegible]

▼本社の確實なる事

[illegible]

▼百圓の元金を得る法

[illegible]

▼今直ちに決心せよ

[illegible]

繪日傘の蔭に 舞ひこむ男蝶かな

初夏の明るい光線と お化粧榮

若葉の下風心持よき初夏の頃のお化粧には、白粉ではどうも何となく青味がかつて居て、眞個の美しい白さに塗かなかつたものです。この點で人知れず苦心をなさつて居らつしやる御婦人方は、是非いままでの品とは塗けた上の白さの異ふ

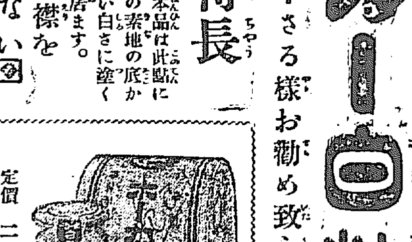
御高貴料 練製 ホーカー白粉 を御使ひ下さる樣お勸め致します

「新發見」と云はる本品の特長

◎日本人の肌にピッタリと合ふ◎
日本人の肌の色合ひにピッタリ合つて、皮膚の色と調和する所にこの白粉の眞個の美しさがあるのです。

◎今までの品とは白さが異ふ◎
白粉は白いものと昔から極まつて居ながら、之を仔細に見別ける事は白いと云へる白粉は無いものです。本品は此點に充分注意して眞個の素地の底から白いやうな美しい白さに塗くことを特長として居ます。

◎不思議に襟を汚さない◎
この白粉で怎んなに濃化粧をしましても、決して着物の襟を汚す如うなことがムいません。これは着く力が强いからで從て白粉崩れや、剝け落ちなぞのないことも判明ます。



定價 二十五錢 送料 滿內鮮地 拾錢 無料

全國到る處の店にありますが、若し品切れの節は直接本舖へ向け振替又は三錢切手代用にて御注文下さい。

ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液
本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店
電話神田特(長)一四三、(長)一四四、一四五番 振替口座東京一一五六番

[illegible]

（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

京城日報

第三版

五月十九日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　郵税…

廣告料　…

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城南大門通一丁目　合資會社京城日報社
電話　…

[illegible]…此間相場の…は前依然として…加來榮太郎田中佐一郎の兩氏仲買人…取引所に仲買人…

▲…き休會して…

…數十日來の…一萬六千五百五十七通中額五て引受は一割五分五厘配達は三割一萬一千七百四十三通にして前年に比し何れも約四割近くの増加を示し…八厘貯金事務は一萬三千三百三十八圓にして二割二分三厘の増加を示…

…進行中高陽郡纛島生れの金元奎（三）が荷車を挽き線路を横斷せんとして…車に觸れ荷車は顚覆して破損し…

▲示度七百五十二粍▲進行方向東南東▲警戒區域平安南北道咸鏡南北道の沿岸及び内陸

京城日報

日鮮滿統一論（三）

歷史上に於ける日鮮滿の關係（下）

秦漢に所謂遼東は、直隸省の北半を含み、金元に所謂遼東は、遼寧を包括するも、是れ東亞局面の一部に過ぎず。然れども此の地方は中古に於て、箕子、拓跋氏の二王室を出し、近世に於て、遼、金、淸の支那征服者を出し、何れも遼東より進入して、支那を征服したる政治史を有し。而かも蒙古族と云ひ、東胡族と云ひ、將た韓民族と云ひ、我が日本民族と密接離る可からざる關係を有するもの決して看過す可らざる事實也。

周朝八百年の威化に由りて、團結し、發達したる中國主義の漢民族が、一大勢力を占め、長城を築きて、東胡を拒ぐに方り、遼河流域に於て、四個民族の割據を見たり。最北端開原方面は、北夫餘王國。鐵嶺以南太子河以北は、東胡王國。遼陽、鞍山站間は、燕の長城。鞍山站以南全半島は、古朝鮮。是れ也。[illegible]千年の後、昭帝が玄菟郡を西北新民の方面に轉進したる後二十四年、宣帝の時、天神の子解慕漱なるもの、鴨綠江源の山地に出現し、夫餘王金蛙を驅逐して其國に據りしも、忽ち亡び、其の遺子朱蒙、又日神の子、河伯の外孫と云ふを以て、其後二十年、高句麗國を卒本夫餘に建設したり。彼等は即ち貊族の一王統にして、北夫餘古王國も亦貊族也。北夫餘王國と我が日本民族とは直接の關係を有せざるが如しと雖も、同じく貊族より出でたる高麗王國は、東遷の後、我が日本と直接交通するに及び、和銅回の後、終に日本帝國の西瀋に隔し、南方漢民族の侵入に抗し、能く其の特殊民性を失せざりしもの、新羅以後の韓國君臣が已れ自ら異質の古史を滅し、事大的思想を表白して得色ありしに比し、霄壤も啻ならざるを知るべし。

上古、遼東即ち南滿洲方面に分布立國せる各民族の大勢を察するに、有史以後に在りて、我が天降民族の先民が此の地方に運動したる形迹を認めざるも、我が民族と夫餘、高句麗、東沃沮、挹婁、濊、諸民族とは密接なる關係を有し、又此等の記錄中に於て、日本民族的氣習、日本的[illegible]族的制度を混入し、隨て支那的、匈奴的、日本的の三者抱合的民族性を存するを認めずんばあらず。而かも其の所謂日本民族的制度は、[illegible]と同じく過去の遺迹にして、後世漸次消失し、支那民族的制度は、新來にして、後世更に益々支那事物を混入し、終に之に同化し去りたるに徴し、遼東方面に於る古民族は支那古典時代より以前に於て、我が天降族の先民と最も密接なる關係を有せること殆んど疑ふ可からざるに似たり。

此の如く、歷史上に於ても、民族上に於ても、日鮮滿の關係最も至緊至切にして離る可からざる所以を審にするに於て、今日、日鮮滿蒙の統一聯絡を圖り、統一ある協力結束に由りて東亞の文明を扶植せんことを期するは、自然の勢にして、又た刻下の急務たらざる可からず。

紐育便り

軍國民たる米人

【特別通信】朝田太郎

拜啓米國參戰以來世界の經濟界も一層面白く相成り

□日々の變化 豫測を許さず當地の新聞紙等も今日發表の事を明日は取消すが如き喜劇を演ずる事往々有之し時節柄とは申すもの、神經過敏になり居る結果とも思はれ申候、獨逸の潛航艇が紐育の南方百浬の地に出現し、米艦を襲擊したとか、英佛の特使を迎へたる二十一發の祝砲を聞いて、敵艦隊の來襲だとか

□風聲鶴唳の事も多く、市中にては橋梁や鐵道の警戒頗る嚴重を極め此間も二三人の番兵の爲め射殺されたるもの有之やに聞及び申候、例のローズベルト氏が一兵卒として出征を出願し、東洋通のキラード、ストレイト氏に何故日本行を中止せしやと質問すれば、兵隊になるのだなど、力味居るかと思へば、近來急に

□結婚證下附願 が當局の卓上に山をなし、將に實施せられんとする新制度に對し徵兵忌避せんとする青年多く、爲めに陸軍省をして『宣戰布告以後結婚せる青年は未婚者と同一の取扱をなす』てふ省令の發布を不得止らしめ、或る市廳の如きに於ては『自國に對する義務を免れんが爲

遊支所感

（七）長江筋に於ける列國の勢力

漢城銀行專務 韓相龍氏談

△租界の覇者 上海には各國租界の統治機關として工部局の設あり、各租界內に於ける各國人にして一箇年間の家賃五百兩以上を支拂ふ人々中より參事會員を選出して以て參事會を組織す、前述の如く上海在住の外國人は一萬三千を算し之れに我日本人一萬二千を加ふれば合計二萬五千に達す可く、其の內英人は四千弱なるも、參事會の定員九名中其の六名までは英人の占むる處となり居れり、之れまた同地に於ける英人が經濟力に於て如何に優位に在るかを察知し得可し、而して同地の金融界には三十六名のブローカー現住せるが此の內英人十六名を數ふ、また上海の爲替相場は日々倫敦よりの入電を俟つて先づ其の銀相場を知り香港上海銀行に於て之を決定するの順序にして、然る後支那各人の爲替相場始めて定めらるゝの情況に在り。

△貿易及海運 更に貿易を瞰るに支那の取引國は英、印、米、日の順序にして英は現下動亂中なるに拘らず常に第一位を占め、上海の如き英本國並に英領各地の貿易を合算せば外國貿易全額の約五割に達し居れり、尚ほ英國の船舶業にはバタフキルド及びジャーデン、マヂソンの外支那の資本によりて成立せる英國旗下に經營さるゝ鴻安公司あり、之等は主として長江沿岸の航海權を掌握し其勢力當る可らざるものあり。

△不抜の勢力 其の他英米トラストの如きも有ゆる手段方法に依りて販路の擴張に努め、今や如何なる僻陬と雖も同社製品を見受けざるの地なく煙草界の覇王として名聲全土を風靡し、或は石油に在りても英のライジングサンは米のスタンダードと共に上海に大タンクを有し廣汎なる販路を得て各地に供給しつゝあり、殊に鐵道用材料の如きに至りては戰時に論なく既に支那各地の注文に應じ而かも短日月を以て之を發送す、斯くて英人は長江沿岸を以て自己の勢力圈、否恰も自國の如く思惟し居れり、其の實力に於てまた然らざるを得ざるを思はしむ。然れども爾く各方面に於て勢力を獨占せし同國も近時日、米、佛、露等の圧迫に依りて漸次其の範圍を侵蝕されつゝあり、長江沿岸に於ける各國人の商戰酣なりとはいへ牢固たる英人の地盤は未だ容易に拔き得可くもあらざる可し。

領土問題

東京　一記者

▲露國革命以來、歐洲戰役の情形に一變化を來たさむとするものあり、露西亞の領土問題是れなり、露西亞は此度の戰役を機會として、君斯坦丁堡を領有し、ダルダネルス海峽を自己の支配の下に置くの素志を遂げんと欲して、疾くに此事を協商諸國に謀り、英佛伊諸國は、之を承認し其保證を與へたるは、既に世人の知悉する所たり、然るに露國假政府は敢て他國の領土を獲得するの非なるを聲言し、折角協商國より得たる保證條件を放棄するの意を示したり。

▲露國假政府は、何故に領土的要求を放棄するに至れりや、或は之を以て、社會主義者の講和速成論より出で來れるものと爲し、或は之を以て兵士勞働者の戰に倦める爲めに提起せる、要求に基くものと爲す、二者何れが當れりや否やを知らずと雖も兎も角も露西亞は、其の巴爾幹に於ける南下政策を一擲し去りたるものと看做さゞるべからずして、露國の此聲言は、戰爭の終結を早むるを得るや否やは疑問なれども、後日平和會議の際の一大問題たるべき、土京及び海峽處分の一面は此に定れりと謂ふべく、近東協商國は露西亞の志此にあらざるを見て、將來白耳義をして之を管理せしむべきことを傳ふるを見ても、關係諸國亦其處置に苦慮しつゝあるを知るを得べきなり今日歐洲各戰線の爭鬪方に酣なり平和會議に於ける領有問題のごときは、畢竟戰爭の勝敗と、戰爭終局當時の情形とに依りて定まるべきや勿論なりと雖も、各國皆各其志圖もあり、戰爭は其志圖を貫徹するの形勢定るまで繼續すべくして、勝敗未だ決せずとも、各々其要求を表示するを妨げず、佛蘭西はアルサスローレーンを取り還すを以て、其主眼と爲すべく、英吉利は獨逸の植民地を盡く已に收むるを以て、其當然の權利と爲すべし、獨逸が敢ば自己に領土的野心なし、只其の英佛諸國の爲めに奪はれたる、植民地の返還を望むと云へるは、是れ又諸國の要求に對應するものならざるべからずして、世界の地圖は、此戰役に依りて一大變更を見ざるべからず。

▲吾人は露國自身の爲めにも、將た世界の均衡の爲めにも其をして、土京及び海峽を領有せしむることを望みたり、露西亞のごとき大國にして、一の世界的開口を有せずといふとは如何にも不自然なり、故に彼は數百年以前より、ダルダネルス獲得を求めて已まず、且各國之を抗拒する爲めに、遂に其志を得ずして今日に至る、且彼の志を此に得ざるや、或時は印度を窺ひ、或時は支那朝鮮に來臨し、遂に外交上の困難より延いて日露戰役の如き大事を引起し、彼の如き大失敗を招きたり、彼若し幸に此度の戰役に由りて、土京及び海峽を獲得するあらば、其の數百年來の大本願は此に成就して、復他に氣迷ひ氣紛れを興すことなかるべく彼は滿足し、世界諸國民亦此に安堵するを得べきなり、然るに今日は革命の混雜中とは云へ、露國に取りては數百年の大本願たる、領土問題を放棄するとを敢てす、恐くは後日臍を噬むの悔あるべきなり。

南洋見物

（18）妓樓の寄生蟲退治（下）

淺岡 重喜（投）

[illegible]

日報詩壇

春川奬務機關運動會　春川 野上靜處

○席上

堤歡僚友百餘人。一日同遊洗俗塵。滿坐人皆喜欲狂。豪歌健舞至昏黃。水之南風山北。昭陽亭上酒千巡。陽亭畔景如畫。興味長於漢水長。

評曰 情景兼到

○春夜　晋州 栖原白峰

西廂讀罷奈閑愁。金鴨香銷玉漏幽。在梨花枝上白。弄簫人倚柳邊樓。

評曰 才筆可羨

○籠中鶯

應思舊穿花樂。方尺籠中托一生。縱令主恩深似谷。到頭不免不平鳴。

評曰 後半奇想

○遊奬忠壇　松浦淡月

情景看登十丈臺。雨三客笑酒樽開。吟隨適迫春濃淡。塵外悠々氣快哉。

評曰 一氣呵成

○春日坐雨　內田 六園

燕燕于飛剪影輕。草生南畝促春耕。殘書在手幽窓下。靜和篆端興滿胸。

評曰 …

○菜花（限韻）　成田 魯石

金鋪恰好映晴曦。香氣滿田花發時。讓入雲中告天子。蒼滿殿上千列姬。

評曰 奇想天來、告天子三字挿得佳

日報歌壇

村田北濱選

[illegible]

六月號出でたり

幼年の友

仕掛付の表紙　トンネルから汽車が出ます

遊戯唱歌　泣くは弱蟲わーらった

南案懸り絹に於ては更に新工夫の描寫法を試み又大に兒童の科學趣味を鼓吹し常に清新なるお伽噺を提供す

一冊 定價 拾二錢 郵稅五厘

東京市京橋區南紺屋町 實業之日本社

五月二十日より

○懸賞募集（夏衣用）裾模樣圖案陳列

曩に東京本店に於て賞を懸け募集致候圖案の內優秀なるもの三十餘種を御覽に供し候

同日より三日間

○新柄夏向半衿陳列會

夏の御粧ひに相應しき新柄多數取揃申候

京城本町 三越呉服店

無慮八拾萬冊を賣せる模範的辭林

芳賀剛太郎先生著　大正六年版

增補訂正 漢和大辭林

總畫索引。音訓索引付

▲春皮特製 正價金貳圓廿錢　▲總クロース製 正價金貳圓

四六判厚二寸一分 紙數千九百四十頁 小包料 內地金十六錢

縮刷版 製本出來

本書の絕大なる價値は滿天下の既に確認する處なり發行高已に八十萬部を超ね出版界空前の偉觀を極む內容豐富、排列整然、解釋穩當適切にして何人も理解し得て殊に學生用辭典として理想的なり新刷版は携帶至便價格低廉目新新なる音訓索引を添付し古諸名家の草書文字八千六百有餘を挿入し錦上更に花を添へたり

五萬部限り 特價金一圓卅錢

三六判厚一寸五分 紙數千四百五十頁 小包料 內地 二十錢

芳賀剛太郎先生著　大正五年新刊

內容見本進呈

著者苦心十一年心血を注きて成せる該博無比解釋詳密空前の大著

漢和大辭書

▼春皮特製 正價金三圓五十錢　總クロース 正價金三圓

四六判厚三寸 紙數二五八〇頁 送料內地二十錢

▲縮刷版 正價金貳圓

三六判厚二寸 紙數二〇六〇頁 送料內地二十錢

右二大辭書は全國各中等學校に於て內容審査の上學生用として特に指定せられたり。

賜天覽

發行所 東京市日本橋區馬喰町二丁目 振替口座東京一八四四番 興文社

賣捌 京城 振替二五七三 電話二〇八六 大阪屋號

○米驅逐艦隊英國到著
英海軍米國幇助の効を認識す

英國海軍省公報＝米國驅逐艦隊は英國海軍と協力して戰爭を遂行する爲英國に到著したり尙在歐米國艦隊司令官シムス少將は日々海軍司令部と打合せを爲し居れるが英國海軍は米國海軍が聯合國海軍の主義を幇助するの効最も大なるを認識し居れり（倫敦電報）

○米對露一億弗貸付

米國は露國に對し一億弗の第一回貸付を了したり（紐育電報）

○佛國軍事豫算案提出

九億四千三百萬法の佛國軍事豫算案は十七日代議院に提出されたり右は千九百十七年度第三期四分の一に當つるものなり（桑港電報）

○獨宰相演說不人氣

獨逸宰相の演說は獨逸人をして失望せしめたり和蘭新聞ニユース、ブアンデン、ダハけ之を評して缺陷の自白なりと言へり（倫敦電報）

○英國同盟罷工終熄
英皇帝皇后軍需品工場に臨ませらる

軍需品製造職工の同盟罷工は追々下火と爲りつゝあり英國皇帝皇后はリバープール及びマンチエスターの軍需品工場造船所及造兵所に臨まれたるが何れも盛大なる歡迎を受けられ殊にバープールのエイルランド群衆の歡迎は熱誠を極めたり尙マンチエスター及び東ランカシアの機關職工は五割餘既に復職せり倫敦の軍需品工場女工は集會を開き四十一歲以上の男子にして軍需品工場に就職し或は就職に託して徵兵を忌避する者とは何人を問はず一切交際せざる旨を決議せり（倫敦電報）

○敵軍波濤の如く殺到す

英軍司令部發電に曰く、敵は極めて激烈なる準備砲擊を加へ後リユーに對し大威力を擧げて猛烈に逆襲を試みブルーアン方面より英兵の後に波湧の如く殺到し我が旋風の如き砲火を冒して蕃進し來りたるも我軍の爲め忽ち薙ぎ倒されたりされど其の一部は我軍と激しき白兵戰を交へたり我軍は更に逆襲して彼の陣地を奪還せり（倫敦電報）

○參戰問題稍緩和す

支那參戰案に對する政府黨民黨の抗爭漸次緩和の徵あり黎總統は參戰案決定後聯立內閣を組織すべき意圖ありと（北京電報）

○追加豫算閣議

十八日午前十時內閣に於て定例閣議を開き勝田藏相より大正六年度追加豫算の各項に亘り大藏省查定方針に關して詳細なる說明あり查定通り決定し四時散會せり（東京特電）

□經理學校行幸

天皇陛下には十八日午前九時宮城御出門陸軍經理學校卒業式に臨御渡邊侍從武官をして優等生三名に恩賜の銀側時計を下賜相成り十一時還幸あらせられたり（東京特電）

○英禁輸特許品

英國政府よりの通報　帝國政府は英國の輸入禁止令に對し珍田大使をして本邦品に對する緩和方を交涉せしめつゝありしが十五日附公文を以て珍田大使宛左の如く通報ありたり（東京特電）

一、玉系及び其の製品、手製組レースの輸入を無制限に特許す
一、千九百十七年絹、漆器、麥稈眞田、安質尼製品、絹莫大小は需要の五割を限り特許す

以下省略

○國立感化院新設

政府は國立感化院新設費を臨時議會に提出協贊を經る事に決定せり經費は十五萬餘圓にして大正七年度より收容を開始する豫定なりと（東京電報）

○豐邊中將優遇

豐邊陸軍中將に對し十八日左の通り辭令ありたり（東京特電）

騎兵監陸軍中將豐邊新作特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ

●團長李熙悳氏の感想談
總督の訓示に對し

入京中の間島視察團一行は十八日午前八時卅分總督府第二會議室にて長谷川總督の訓示を聽きたるが之に對し答辭を述たる團長李熙悳氏は曰く視察團一行は既に國境會寧に入るに及んで官民各位の熱誠なる款待を辱ふせるが道回京城に入ると共に特に長谷川總督閣下の訓示を拜聽す一行の光榮喜悅は此の上もなきところにして歸宅の上は郷黨に語り傳へて

▲悅びを共にせん　と考へつゝあり、猶ほまた十八日の視察は總督府より更に警務總監部に向ひたるが同所に於ける消防隊の敏速なる活動、採偵犬のはたらき、水質試驗の實驗等何れも非常なる活教訓にして此の上如何なる見學を試み得べきやと團員一同今より樂み居る次第なり、次に總督閣下の意のあるところ充分鄕人にも語りつたふべき考へなるが由來間島の地たる豆滿江を隔て支那の主權の下に在るの地なれば住民も素より朝鮮內地と同じからず

▲彼等のある者は　既に今より四十八年以前國禁を犯して豆滿江を渡れる者尠なからず其他國の領土に於て自己の新運命を開拓するの途亦容易ならざるものありしが更に併合後に至りては朝鮮內地に志を得ざる人々の渡來するありて一時は總督政治を誤解する者も尠からざりしなり、然るに近時朝鮮に於ける日本の施設は益々われ等朝鮮同胞の幸福を加へ延いては間島在住民の上にも恩寵なる日本官憲の

▲保護誘導ありて　さすがの頑迷の徒と雖も今は安んじて日本政府の誠意を了解するに至りしなり此の事は足一度び朝鮮の地を踏むに至りて日ごろの噂を事實に目睹するを得たる次第にして一行の眼にふるゝところ總て感嘆に値せざるはなし、猶ほわれ等の痛切に感じたるは鮮人敎育の完備せるとにして現時間島にも普通學校の設けあれどわれ等は更に從來の書堂式教育を改め新らしき學校の建設を

▲焦眉の急なりと　感じたり、猶ほわれ等一行は京城にて見學せし總ての模範を歸宅の上著々現實せんとの希望を有するものなれど茲には只總督閣下をはじめ官民御一同の熱誠なる御厚志を感謝し置く次第なり、猶ほ間島の地は清會線鐵道の開通に伴ひ會寧龍井村間の輕鐵敷設も實現すべくわれ等間島移住民の幸福は益々增進せられんとしつゝあればこれまた充分間島在住者の感謝しつゝあるところなり云々

●內地の資本、朝鮮の勞力
朝鮮工業の勃興に對し勞力の豐富なるを喜ぶ
王子製紙會社專務　藤原銀次郎氏談

滿蒙視察の爲め入京朝鮮ホテルに投宿せる同氏の談に曰く

朝鮮から滿洲を見たいと云ふのが目的です、別に纏まつた目論見といふものは持ちませぬ、朝鮮は十年許り以前に一度素通りした事がある、今度再び來つて當年の狀と思ひ較ぶれば、何といふ激しい變り方であらう京城に來て百般事物の進步の著大なるに私は驚いた、十年の歲月にして此れ程に發展して居ようとは思はなかつた、而して今後五年十年後の京城は更に益々發達する事であらうと私は信じて疑はぬ、私が此の朝鮮に來て感じて居る事が二つある、第一は朝鮮の工業と勞力の供給と云ふ事で、第二は朝鮮の農業開發と肥料の供給といふ事である。

▲生活向上と勤勞　私が今日衷心より感謝に堪へぬ事は日韓併合の結果千五百萬の朝鮮人がそつくり其の儘極東帝國の臣民となつた爲めに日本の工業的發達に伴うて朝鮮に於て多々益々勞力の供給を受けることが出來ると云ふ事である、朝鮮人は長煙管を啣へて徒らに悠々閑々無爲無能の生活をして居る、あれでは駄目だと云ふ、私も朝鮮人が今日と雖も到る處に原始人の如く低い生活をしてウロ〳〵して居るを認める、午併其處が大に味のある所である、一體朝鮮人がノソリ〳〵として居るのは生活が暢氣だからである、生活が暢氣と云ふのは、彼等が僅かの生活費で最低級の生活に甘じ得るからである、若し朝鮮の下層民をして活溌に立ち働かしめんと欲せば即ち彼等に忙がしい職業を與へ收入を多くせしめねばならぬ、收入が殖れば自然生活が向上する、生活が向上すれば自づと餘計働かねば追つ付かなくなる、必要上彼等は勤勉ならざるを得なくなる。

▲貴重なる鮮人勞力　顧つて日本內地の工業界を御覽なさい、今や生產事業の殷賑繁忙に伴うて賃金は昂り、勞働者の收入は殖ね其生活は向上して、漬物で下等米を喰つた者が刺身で一等米を喰ひ、自分は背廣に山高帽位で家內には縮緬の著物の一枚も著せて休日には散步に行かうといふ景氣で今日現に工場經營者は勞働賃の高い割に勞力の供給の不足を憂へつゝある、然るに朝鮮に於ては如何、歐洲大戰に際して所謂先進國なるものが擧りて勞働者の缺乏に困窮して居るに拘らず、我が日本は一方に於て資金は日に潤澤となり他方に於ては朝鮮に於ける勞力は過剩を來して居る、然かも其勞力たるや將來之を使へば使ふほど能率を增進する有利有益なる勞力たるに於てをや。

▲事業上の注目點　朝鮮人に贅澤をさせろと云ふ意味では無いが、私は多少彼等の生活程度を向上させる必要があると思ふ、然らば彼等は種々の方面より刺戟を受けて精々稼がねばならぬといふ事を自覺して來る、彼等が勤勉になれば勞力の效程は高まる、然かも之を日本內地に較べると、まだ〳〵近い將來に朝鮮人の勞銀が急に高まる事はなく、低廉なる勞力が潤澤に得られるであらう、內地では勞働者の鼻息が荒くなつた各所でストライキが起つて居る程に彼等の鼻息は荒い、此間に在りて我が朝鮮に於て順良なる勞働者が殆ど無限に得られると云ふ事は全く以て天が日本に幸する次第であると謂はねばならぬ、此の意味に於て朝鮮の工業經營といふ事は內地資本家の最も研究を要すべく、何種の事業と云はず、苟くも爲し得べき事業に向つてはドシ〳〵邁進すべきである、內地の資本は橫溢して居る、此の資本の一部は必ずや朝鮮に向つて注入せられねばならぬ、勞力の豐富なる事は朝鮮の誇であり、日本の誇りである、私は必ず朝鮮に工業の勃興する時あるを信ずるのである、而して私も亦此度の旅行に於て多少は調べて行きたいと思ふ事もある。

●後援會現況

大隈侯爵を會長とする帝國軍人後援會にては朝鮮に支會を設置し大に軍人後援事業の發展を畫する事となり客年四月山縣政務總監を支會長として盛んなる發會式を擧行せるが其後朝鮮支會にては各道に各部會を設け鋭意會員募集に努めつゝあるが今日までの概況を聞くに京畿道六千七十八人慶尙南道百八人全羅北道三百四十八人の入會者を既に得右加入者中には有功會員即ち五百圓以上の醵出者三名もあり尙此外忠淸南道も目下續々加入者あり全道を通じて一般に好成績を示しつゝありと

◉京畿巡回診療

水原慈惠醫院の巡回診療は地方僻陬の地に在りて醫療の便を得ざるものの不幸を補はんが爲め大正元年度以降實行し來りたる所にして主に窮民患者救療を目的とせるが昨年度の受診者數は九千二百七十七人にして內無料施療九千二百三十九人に及び十八箇所にて百四十八日の施療を爲せる有樣にして逐年受診者の增加を見るに至れり、本年度巡回診療は來る六月一日より來年三月二十七日に亘り十八郡內に於て施行せらる、各診療期日診療場所左の如し

▲自六月一日至七日楊平郡楊根里▲自十二日至十八日廣州郡慶安里▲自二十三日至二十九日[illegible]▲自七月四日至十日[illegible]▲自[illegible]郡[illegible]面[illegible]里▲自[illegible]▲自二月一日至七日龍仁郡金良場里▲自二月十一日至十七日利川郡邑內面倉前里▲自二十一日至二十七日驪州郡金沙面利浦里

◉郵便爲替貯金狀況

四月中に於ける朝鮮郵便爲替貯金狀況左の如し

▲郵便貯金　には預入度數二十一萬八千六百四十九回金額百九十三萬六千四百十六圓切手及證券を以て預入れたるもの度數九千七百十四回金額五千百六十六圓拂戻度數六萬八千四百三十八回金額百七十六萬二千七百三十五圓にして月末現在貯金額は內地人七百九十九萬三千六百二十四圓朝鮮人百九十三萬八千百六十六圓合計九百九十三萬一千七百九十圓にして之れを前年同月末現在額に對比すれば百九十三萬八千百九十七圓を增加せり

▲振替貯金　受入に於ては拂込口座振替を合して口數四萬百八十六金額五百五萬八千二百二十七圓拂出にては口數二萬五千九百三十七圓金額四百八十六萬四千六百九十七圓にして月末現在高は九十五萬六百七十四圓なり之を前年同月末現在額に比較すれば三十六萬一千四百七十五圓を增加せり

▲證券　にては受入枚數一千二百五十四枚金額一萬九千五十五圓拂出枚數八百四十五枚金額一萬八百三十圓にして月末現在證券は五萬三千三百二十八枚金額七十萬九千三百十六圓なり之を前年同月末に對比すれば枚數に於て八千三百三十二枚金額に於て十四萬二千五百十五圓增加せり

▲內國爲替　は振出口數十六萬九千百一度金額三百九十六萬六千三百五十六圓拂渡口數十七萬二千百九十二金額三百七十七萬五千百三十圓にして之を前年同月に比すれば振出金額八十二萬九百六十七圓拂渡金額六十九萬一千九百八十八圓の各增加を示せり

▲外國爲替　は振出口數百八十四金額八千三百七十一圓拂渡口數二百六十九金額一萬三千八百七十二圓にして之を前年同月に比すれば振出金額四千百二十七圓拂渡金額一千二百九十圓を孰れも增加せり

▲年金恩給　支拂は口數二千百五十四金額七萬二千五百二圓にして前年同月に比し八千九百七十一圓を增加せり

▲郵便爲替監督交涉　今回郵便爲替の管理交涉を見るに▲朝鮮受內地拂爲替は二萬八千七十六圓拂渡口內地受朝鮮拂爲替は二萬一千八十二圓▲朝鮮受滿洲拂爲替は二十七萬三千八十四圓拂渡口數千五百四十九圓▲滿洲受朝鮮拂額一萬五千三百九十八圓なりと

●西鮮米買附

定期並に現物商に於ける米界は稀有の活況を呈しつゝあるが發に南鮮より二三萬石の買附をなして間も無きに木浦群山方面に於ける品薄傳へられ南鮮より又々買附の爲め出張せるものあり約四千叺を買占めたり（鎭南浦）

●親睦會歡迎協議

大正親睦會長趙子爵以下幹部諸氏は十八日午後六時より明月館に集り間島視察團歡迎方法に付協議する處ありたり

●議員選擧と有權者一覽表

來る六月九日施行せらるべき京城學校組合議員選擧に關し本町一丁目隈代書店に於ては選擧有權者一覽表を作製し各關係者に對し實費を以て頒布すと云ふ因に同一覽表は各町洞別いろは順にて頗る便なり

人事消息

▲美濃部鮮銀總裁▲井內檢查局長▲倉富秘書役　十九日午前九時三十分南大門驛發元山へ
▲小林維衛氏（東京三河屋支配人）十八日朝退京
▲本田平壤府尹　同上
▲大池忠助氏（釜山商議會頭）十八日夜退京
▲迫間房太郎氏（實業家）同上
▲香椎源太郎氏（朝鮮瓦斯社長）同上

▣南言北語▣

遙々京城視察の爲入京した間島鮮人觀光團の一行七十五名は昨十八日から處々を觀光して居るが▲兎に角一行は始めて斯る大都會を見物するので見る物聞く物何れも感心せざるはないと云ふ有樣▲服裝なども名々樣々で異樣の風をする人もあらう且つ又所謂野人禮に嫺はざる處もあらう▲而し乍ら吾人は斯る觀光團の來るのは衷心から大に歡迎する▲服裝や非禮を笑つて之れが歡迎を輕視するなどは大に間違つて居る▲其の譯は今更ら玆に喋々する必要はないが思つても見給へ我維新の大改革に際し▲西洋文明を巧みに消化して其の途を誤らしめなかつた彼の岩倉大使等の歐米觀光の際の事を▲岩倉卿などは烏帽子狩衣と云ふ大した構へであつたから▲西洋各國でも頗る異樣に感じられたのであらうが▲行く處手厚き待遇で充分觀光の目的を遂げて歸朝した▲當時日本は攘夷とか何とか公卿方も非常に氣を揚げて居る時であつたが▲岩倉卿等は其等の諸公卿を先づ軍艦見物に案內した▲處が意氣揚々と軍艦に來た先生の內には先づ帆綱に冠を引つかけて狼狽する者もあれば▲御馳走の料理に鹽を砂糖と間違へて一面ふりかけて辛い顏をするもの▲硝子のあると知らずに突進して引つくり倒つたものなどもあつたものだ▲當時口の惡い故中井櫻州先生の如きは軍艦見舞規則と云ふものを作つて曰く▲一、冠を帆綱に引つかけまじき事二、硝子に突き當るまじき事三、鹽と砂糖を間違まじき事など盛に皮肉くつたものだ▲近くば本社主催の第一回內地觀光團の際の如きも往路中には大分失策も滑稽もあつた▲が內地至る處非常の歡待を受けて歸つて來たが▲其の一行團員であつた諸君の今日は何うであるか▲何れも實業界や其他の中堅となつて朝鮮の開發に盡力して居るのではないか▲吾人は今回の間島觀光團員諸君に對しては誠實なる厚き歡待を盡したいと思ふ

●東京倉庫　損害四百萬圓

●鳥致院　▲スキール博士　……が愈々本年度の商開期を利用して設立し今秋の收穫米出廻時期迄には諸準備を整頓し大々的……織となすべく議は日を逐うて進みつゝあれば是れ又遠からず實現するに至るべし▲滿洲米外國米の輸入……既に奧筋在米は僅少なるもの如く麥作を待ち居たる一般百姓は寒氣の爲め降雨の尠なかりしとにより麥……に一昨十五日三十噸車一輛昌圖を發送したる由なれば近く鳥致院市場に現はれ來るべく又一面外米の輸入も……

●春川　▲春川と泉田市　春川市と泉田市に於ける大正五年度放賣總金高を計上すれば春川市は一千七百四十九圓の增額なり而して春川市の減額は市況の發展に伴はざるが如く推移し……も之れ天候の……一時中止の姿なりし家畜市場等昨今著々進行し牛市の盛況と共に泉田は年々發展の實を擧げつゝあり▲尾崎……

法學士　警視　藤沼武男氏著
（最新刊）袖珍　朝鮮行政警察規集　定價金五十五錢　送料四錢
本書は憲兵警察官の教科用兼執行用として編纂せられたるもの亦同氏の行政警察法總論起稿の前提たり袖珍形にして携帶至便紙數五百有餘頁收むる法規百三十有餘重要なる朝鮮行政警察法規は擧げて編中にあり憲兵警察官は勿論其の他朝鮮行政警察を法規上より研究せんとする者に對するも正に至便の書たるを失はず
發行元　京城本町一丁目　大阪屋號書店　振替京城二五七三　賣捌　釜山　大阪屋號

民事刑事商事人事及特許事務一切ノ依賴ニ應ジ懇切ニ執務ス
事務所　京城明治町二ノ一〇五（支那領事館通）
辯護士　特許辯理士　法學士　榎本隆　（電話二八四四番）

中學世界增刊　五月五日發行　本號に限り定價三十錢　郵稅六錢
本年の受驗界
附　官・公・私立諸學校入學試驗問題集

最も信頼すべき受驗生の指南車
成績講評　東京高工の英語、東京高商の數學、商船學校の英語、外國語學校の英語……各校試驗官
△本年の受驗界の趨勢を見よ　△入學志願者に告ぐ……
高等學校入學
△本年度各校入學者氏名一覽　▲商高等學校選拔入學試驗日割　受驗者へ注意……
受驗實記　各商高、各商工、金澤醫專、商船學校、外國語學校、士官學校、外數校……受驗生寄稿
東京　本町　博文館

◎社員招聘　希望者は履歷書携帶午前中に御出頭を請ふ　保證人二名を要す　給料は面談の上取極む
京城長谷川町五十八番地　帝國公債信託株式會社朝鮮支部　電話長二五三四番・振替口座京城二〇一七

幾千万ノ人命ヲ救助セル朝鮮人蔘ノ效力

御尋ねの靈藥は即是れ！
○御注文は「ハガキ」で御申越下されば何處迄も御送致します
朝鮮京城西小門町三十五番地　朝鮮人蔘製藥所　電話園五八四番　振替京城四二〇六番
各品定價表　○內用エキス　○外用エキス　○人蔘粉末　○煎用人蔘

內科小兒科　院長上京中の處歸院す　京城櫻井町　池上醫院　（電二二七一番）

……の損害は調査の結果總額……上れり（大阪特電）

……には網以上共同購入販賣組合設置の目論見を爲し時期を覗ひつゝありし……を締らば直ちに從ひ一大刷新を行ひ權威節制なる組合組……生產者即ち鮮人側に於ける消費額又は豫想外の多額に上りたるもの〻如く……なる爲め速かに狼狽し來り食料……の蜂起るに及びたれば田中商店に於ては早速滿洲粟の輸入を開始し既……も相當の輸入を見るべき筈なり而して滿洲粟の當地相場は十四圓二三十錢なるべく豫想されつゝあり

……て八萬六千百十八圓を示せり今之を大正四年度に對照すれば春川市は一千百九十九圓の減額にして泉田市は……田市の增額……畜牛の移出累年增進するものにして牛市界の盛況と謂ふを得べし而して……

……務官は事務打合せの爲め十三日京春自動車にて來春旅舘秋野に投宿

軍國主義の勝利

悲む可き事實であるが已を得ぬ

京城通過參謀將校談

凡そ國家でも個人でも乃至は他の團體でも動物でも同じ事であるが自己の強大なる事は一向に差閊へなく又邪魔にも成らぬが自分以外の國家又は團體、個人、などが自分より強大である場合にはその強いものは

◆目の上の瘤◆以上に邪魔に成るものである此の原理から今回の歐洲戰亂から今日に至る經過を見て居ると極めて面白く又得難い教訓を吾人に與へて居る、戰亂以前歐洲の強は

◆獨逸の勢力◆が日に益々強盛に赴き遂に自分等の上に出づるを見て心頻に平かならず其の強盛を呪ひ其の強盛の要素たる軍國主義を逃だしく呪詛したが遂に列強は力を協せて此の

◆拔群の强力◆者を討滅する事と成つた其の開戰の理由を說明して『獨逸の軍國主義は世界の平和を脅かし世界幾億民の讐敵である之れ人道の爲め討たざるべからず討つて先づ彼の

◆軍國主義を◆打破せざるべからず』と此の宣言の爲めに列強は齊しく戟を執つて起つた爾來三箇年の間世界は獨逸の軍國主義を打破する爲めに努力した其の結果は

◆敵も味方も◆疲弊困憊して茲に始めて眞に軍國主義が國家生存上に必要缺くべからざる事を痛切に理解した之れ何等の悲しむべき理解であるまいか。軍國主義打破の旗頭であつた

◆英國は開戰◆後始めて徴兵令を實施した佛國も今後自國の獨立を保障する爲め非戰以前以上の軍備の急要なる事を痛切に自覺して來た何故ならば開戰劈頭初に於て

◆佛國單獨に◆ては一箇月を經ざる內に全國悉く獨逸の蹂躪する處と成つたのである、非戰主義の米國も一朝事ある場合に於ては國際法規も道義も白刄の下には何等の權義も持ち得ぬ事を知つて愈々

◆武裝して起◆つ事となつた此の他各國共に苟も國家の獨立體面を維持せんとするには兵力の外に恃むものゝない事を實證を以て敎へられた戰亂は今後

◆或は遠から◆ずして終結するかも知れぬ而しながら列國は此の戰の經驗に由つて益々軍備の擴張整頓を實行するに相違ない斯くて英國が主唱した獨逸の軍國主義打破の運動は單に獨逸の軍國主義を

◆打破し得ざる◆のみならず英國自身を始め世界各國を導いて悉く軍國主義に趨らせて終つた實に悲しむべき事實であるが已むを得ない強い者の力を

◆用ひさせぬ◆やうにするには強い者に屈伏するの外に道はない強い者の前に獨立獨行しやうとするには自分も其れと同等又は同等以上の實力を蓄へて置かなければ成らぬ其處に

◆初めて平和◆が求められる強者と弱者の平等に併立する事の能きないのは萬古の眞理である此の戰亂に由つて軍國主義は打破されずに却つて勝利を得て終つた實に悲しむべき事實であるが已むを得ない

總督の饗應に招かれ

一行光榮に感じ合ふ

■間島視察團

間島鮮人視察團の一行は總務總監部でさまぐ\と殖務機關の說明を受けた後商品陳列館に入り館員より種々と說明を受け『朝鮮も斯んな

□立派な品物が出來る樣になつたか』と感心しそれから京城ホテルに於ける總督饗應の午餐に招待され何れも光榮に感じ合ひ宇佐美內務部長官は總督代理として歡迎の挨拶を述べ李團長より總督に對する

□感謝の答辭を述べ午餐後には豫定の如く一同京城郵便局を視察したが局では郵便小包の集配狀態や爲替、振替貯金、集金郵便等に由る送金狀況電信電話機事の說明を受け何れも

□驚異の眼をみはりそれから朝鮮銀行に行き應接室にて茶菓の饗應を受け三島理事總裁代理として挨拶を爲し中村營業局長の案內にて場內を

□隈なく巡覽し其の建物の宏壯美麗なるを嘆賞し『京城は廣くても之れ以上の立派な建物は有るまい』と大いに感心したが一行は午後六時より

□朝鮮ホテルに於ける朝鮮銀行の歡迎會に出席した

靜岡縣强震

千代田村の大龜裂

死傷者を出す

十八日午前四時七分靜岡市に激しき上下動あり三分の後水平動に變じ家根瓦落ち電柱倒れ電燈消え全市暗黑の裡に大混亂を惹起せるが其の際倒潰せる家屋の爲め本町一丁目綿屋鳥居正太郎（三八）は無慘の壓死を遂げ妻なす（三七）も瀕死の重傷を負ひ娘（九つ）は重傷を負ひたる後絕命せり商店官衙等の石垣煉瓦等の崩壞窓硝子の破壞せるもの算無く尚同縣發明石行列車は震動の爲め立往生を爲し同縣安倍郡千代田村には巾三尺長さ十間に亙る大龜裂を生じ電線の切斷せる所少なからず震源地は大井川の上流にあるが如く東京にても激動を感じたり（東京特電）

大連油房構內の出火

豆油七千函を燒失す

十八日午前十一時十分大連軍用地區三泰油房構內苦力のハンダ附より漏火し折柄の烈風に火焔猛烈を加へ間もなく火は野積豆油に燃え移り豆油約七千函を燒き拂ひ午後一時頃漸く鎭火せり損害價格約十二萬圓騷動を極めたり（大連特電）

爭論して自殺

京畿道楊州郡榛接面長峴里朴道順妻鄭春玉（三三）は十日午後二時頃夫婦爭論の末精神錯亂し苛性曹達を仰ぎ吐血して自殺を遂げたるより長峴派遣所より憲兵出張檢視せり

物盜して遊興

京城明治町三丁目狩野某方に雇はれ中なりし林興吉（二四）は昨冬中本町三丁目林光股より引廻し一枚を借受け本年二月中龍山桃山遊廓二見樓にて遊興費の代に押込み一月中には同じ仲間の店員松本某のオーバ一枚外二點（三十一圓餘）を窃取し尚本町二丁目鈴木商店員島津某のインバネス一枚（十五圓）を又主家所有の金笛四十枚をも窃取したるより此程鍾路警察署に檢擧されたり

李朝太祖

△女眞討伐 李朝の天下 お家騷動

△嚴正なる歷史家の立場＝八人の王子＝お家騷動のはじまり△

前回に記した李太祖以前の事蹟は素より後世の傳說を一層潤飾して捧へあげたものゝ如く、之を嚴正なる歷史家の立場から云へば誠に太祖李成桂あたりから稍確な位のもので第一祖先の一番はじめの穆祖大王が宣州（今の元山附近德源）の知であり且つ蒙古のタルハチであつたにしたところでこれが豆滿江畔の慶源に住つたなどとは思ひもよらぬことであるらしい、何となれば北邊豆滿江方面の經營がやゝその緒についたのは太祖の七年頃の事であつた當時太祖の先祖が仕へて居た高麗朝の末期には、せい〳〵今の咸北吉城（城津の北）あたりが女眞族との境界であつたのでも知られる、且つ太祖の祖父君桓祖の如きも、當時に於ての女眞の土地双城（今の永興）に流寓してゐた高麗人の居留民長であつて、今でも太祖の降誕地が同地の黑石里にある通り、李朝の御先祖は詰り元山附近から永興あたりで勢力を蓄へたものであるらしい、されば咸興の土地も太祖に至つて初めて關係が生じたので、それまでといふものは、なか〳〵ドウして高麗朝の力ではあの邊までは進まれぬのであつた、次いで太祖は、高麗の王に仕へて今の鴨綠江の上流、江界の地方から滿洲の方にも出征するし、また始終高麗朝の神經を惱ました今の永興、定平、咸興方面にも戰ふし且つまた元山附近を荒し廻つた日本の倭寇とも衝突しなければならなかつた、そうしてだん〳〵支那の大元に離背した女眞の酋長等を手馴付けつゝ、遂には前述の如く今の咸興平野で納哈出の軍と堂々の矛を交へたのであつた、それから漸次太祖の勢力は北にのびて遂には高麗の恭讓王の時天下は遂に李成桂の手に掌握されて了つたのである、閑話休題、系圖しらべは此のあたりで切りあげ劇曲的なものばかりを記してみる、初め太祖には韓氏といふ才色すぐれた王妃があつて、それに、六人の王子があつた、然るに此の王妃は不幸逝くなられて、後添ひの王妃にはこれも亦美しい康妃といふ妃が御入れとなつた、而して此の方にも二人の王子が出來たのであつた、そうするといふと後添ひの康妃は如何にもして自分の腹を痛めた王子を世嗣にしたい、どうか李朝の第二世は妾の子でありたいとは日頃の願ひ、トァ〳〵臣下の中には先妻の王子に味方する者と後添の方に片肌脫ぐ者との二派に分れた『さしづめ浪花節なら『ソレヤコレヤの爭ひで……』といふところ』お家騷動の油は遺憾なく巨火にそゝがれたのであつた。

夏場所

▲八日目の勝負

（十九日午前一時著電）

勝　負

若常陸　鶴ヶ濱　玉柳　手柄山
金龍　櫻　八重高　高千穗
黒雲　國ヶ岩　成瀬山　嚴
浪泉　朝綠　鷹　柳　預　琴ヶ浦
三杉磯　若島　明　預　清瀬川
大潮　大門岩　常の花　預　柏戸
錦島　達の矢
宇都宮　鶴渡り　大鳴門　宮城山
千葉崎　逆鉾　對馬洋　眞砂石
九州山　伊勢の濱
大錦　黒瀬川

（中入後）

大の高　鳴門洋　彌高山　八甲山
紅葉川　小常陸　源氏山　石山
龍ヶ崎　大戸平
一　駒泉　休　浦の濱
土州山　兩國　藤の川　釋迦嶽　敷島
栃木山　朝潮

右の內▲琴ヶ浦に鳳柳は琴例の通り却々に立たず最後に變な立ち方をしてバッタリ右四ツ鳳塌つて寄るを琴下手投を打つて廻り込み鳳左手を引き上手投げを打つて寄り進む事再三琴懸命に殘し下手投げを打つて寄らんとしたれど鳳殘して大相撲となり互ひに呼吸を圖る內水となりのち鳳強引に吊りて寄り進み琴の堪ふるところを外掛けに切返へして同體に落ち軍配は琴に揚がりしも物言ついて預り▲三杉磯に若島は右四ツ三杉寄進み若が下手投を打たんとするを外掛けに浴びせ倒して三杉の勝▲清瀬川に明は明左を押へて寄るを清瀬上手を引いて殘しつゝ大きく上手投を打たんとするを外掛けに切返へして明の勝▲常の花に柏戸は常右を差して寄る出身を柏右手に卷いて小手投を打つて極る際同體に流れ軍配は柏に揚がりしも物言ひ附いて預かり▲達の矢に錦島は達例の通り突張つて叩かんとするを錦左を差して一氣に寄り切る▲宇都宮に鶴渡りは突き合ひ右四ツとなるや鶴吊身に寄進むを宇都外掛けに浴びせ倒して勝▲大潮に大門岩は大門立ち上がりさま右を差して一氣に寄り進むを潮危ふく土俵際に殘して強引の小手投を打てば美事に極まる▲宮城山に大鳴門は鳴門例の通り上突張り鋭く攻めつくるを宮城受け流しつゝ土俵際にて廻り込まんと後ろを見せるを逆り氣味に突き出して鳴門の勝▲逆鉾に千葉ヶ崎は一寸突き合ひ右四ツとなるや千葉左上手を引いて寄り進み逆が打ちやらんとするを例の外掛けに浴びせ倒して千葉の勝

▲九日目の取組

琴ヶ浦　（瀧ヶ崎　大の里）（三杉磯　大の高）　柏戸
大門岩　大戸平　（鳴門洋）
白山　源氏山　（一港）
清瀬川　大鳴門
敷島　（紅葉川）（宮城山）　兩國
常の花
朝潮　六錦
（八甲山　大潮）
中入後
（達の矢　明）　（彌高山　鶴渡り）　錦島
若駒　泉島　千葉崎　（伊勢濱）（土州山）
黒瀬川　對馬洋　（宇都宮）（眞砂石　釋迦嶽）
九州山　（栃木山）

▲浦の濱休場　浦の濱は親方浦風林右衛門死去の爲め徹夜健康を損ねたる由にて休場を申出でたり

監獄武道大會

（第四信＝城頭にて特派員）

西大門監獄にては來る二十日同監獄に於て總督府監獄職員武道大會を開催し午後零時三十分より選手仕合を行ふ由

▼中入後不著　電線故障のため電報不著につき中入後の手捌きは十九日夕刊に掲載の事とせり

圖國技館 夏場所成績表

大相撲（表中○勝●負や休）

東の方

日	朝潮	鳳	若島	柏戸	藤の	明	鳴門	八甲	鶴渡	石山	浦の	錦島	玉手	紅葉	大戸	敷島	千葉	大鳴	土州	眞砂	黒瀬	伊勢	太刀
八	●	や	●	預	○	○	●	●	●	●	や	○	や	○	●	●	○	○	●	●	●	●	や
七	○	や	や	●	●	●	●	○	●	○	●	○	や	●	○	○	●	●	●	●	●	○	や
六	○	や	●	○	●	○	や	●	●	●	●	●	や	○	○	●	○	○	●	●	●	●	や
五	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	や	●	●	○	●	○	●	●	○	○	や
四	○	●	○	●	●	○	○	○	●	●	●	○	●	○	●	預	●	●	○	や	○	○	や
三	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	預	●	預	○	●	や
二	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	や
一	●	○	●	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○	や

勝星 七十一

日	[illegible]	榮櫻	若島	手柏	朝錦	矢雲	東の	浦刀	太の	和玉	荒り	成瀬	三杉	大の	琴ヶ
八	●	○	●	●	や	や	や	や	や	や	●	○	○	や	預
七	や	や	や	や	○	○	●	○	●	●	や	や	●	●	○
六	○	○	●	●	や	や	や	や	や	や	や	●	○	○	○
五	や	や	や	や	○	●	○	●	●	●	や	や	や	や	や
四	●	○	●	や	や	や	や	や	や	や	●	や	○	●	●
三	や	や	や	預	●	○	●	●	○	●	や	や	や	や	分
二	○	○	○	や	や	や	や	や	や	や	○	●	○	○	●
一	や	や	や	分	○	●	●	○	○	○	●	や	○	や	や

西の方

日	對馬	[illegible]	龍ヶ	大の	彌高	清瀬	大潮	常の	達の	岩木	綾川	小常	宇都	源氏	駒泉	一濱	釋迦	宮城	逆洋	九州	兩國	栃木	大錦
八	○	や	○	○	○	●	○	預	●	や	や	●	○	○	○	や	●	●	●	○	○	○	○
七	●	や	○	○	●	○	○	●	○	や	や	●	●	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○
六	○	や	○	●	○	●	○	●	○	○	や	●	○	●	●	や	●	○	○	○	○	○	●
五	○	や	●	●	●	○	○	○	○	○	●	や	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
四	○	や	●	○	●	○	●	○	○	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	●	預	○	○
三	●	○	●	●	分	●	○	○	○	預	預	○	●	○	●	●	○	●	●	●	○	○	○
二	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	○
一	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○

勝星 九十二

日	男島	錦葉	中の	玉の	八重	金龍	蜂の	御西	高千	陽ヶ	花の	浪見	浪泉	大柳	紐門	大門
八	や	や	や	や	○	○	や	や	●	●	や	や	や	○	預	●
七	●	や	や	○	○	や	や	や	○	や	や	○	●	や	や	○
六	や	●	●	●	●	●	○	や	○	○	や	や	○	●	●	○
五	●	や	や	や	や	や	や	や	○	や	や	○	○	や	●	[illegible]
四	や	●	○	○	○	○	や	●	●	や	や	●	○	や	○	●
三	●	や	や	○	や	や	や	○	や	や	●	●	○	○	○	○
二	や	●	●	や	●	○	○	や	●	●	や	や	や	や	や	や
一	○	や	や	●	や	や	や	●	や	や	●	分	●	○	○	○

米國觀光團來鮮

ジャッパンツーリストビユーロー取扱に係る米國ユニバーシチー旅行團一行來る二十日午前連絡船にて釜山著同夜南大門著入京二十一、二の兩日市中を觀光し廿三日朝鮮滿急行列車にて滿洲視察のため奉天に向ふ豫定也

自轉車搔つ浚ひ

廣島市天神町生れの香川九郎（三二）は五月七日京城長谷川町長澤某の自轉車一輛（二十圓）を九日には南大門通五丁目崔永植の所有自轉車一臺（五十圓）をも竊取して黃金町四丁目有吉自轉車屋に賣却して本町警察署の手に捕へられたり尚同人は四月三十日マークはブライアンスにして名稱はアドラスなる新自轉車（六七十圓位）一臺をも竊取し居りしが被害者不明にて本町署に保管中の由心當りは照會すべしと

えんげい

□ロロー終篇　約三箇月の長きに亘りたる大正館の呼物連續大活劇快漢ロローはいよ〳〵今週を以て終末となるべく今回は十九、二十の四卷にて幾多の疑問曲折を見たる全篇の大團圓を結ぶべし。然してその他の主なる寫眞は左の如し
▲宮殿劇ツアリンの戀人風俗▲喜劇先生のピアノ▲滑稽劇チツプリンの蹴り合ひ三千呎▲史劇上野戰史天野八郎全三卷▲漢快ロロー終篇四卷▲新派悲劇いろは姿全三卷

□壽座　大阪歌舞伎中村梅升一座にて連夜相當の入りを續け居れり

□御成座　諦劇神田忠男一行にて開演中

□有樂館　長尺物寶石我物語なる好評にて活劇ロッキー嵐、廻る運命あり相變らず大入り

□黃金館　活劇船上の秘密悲劇咫尺太郎等なる好評。いづれも好評

朝鮮燐寸製造株式會社募集

當社發起の目的は專ら燐寸の製造販賣を營み以て朝鮮產業の開發を圖り所謂自給自足の方針を徹底せんとするに外ならず本事業に於て特に有利有望なるは其年々內地製品の移入數量二百五拾萬クロスに達し價額百萬圓を超へ漸く增加の趨勢を示すは即ち販路開拓の如何に容易なるかを知るに足るべく而して其原料たる軸木は當社特に總督府に交涉し營林廠より無限に供給を享くるの恩典を受け職工は低廉なる鮮婦人を使用し得べく之を以て一般の需要に應ずるを得べし輸入品と比較して安價なるべきは察するに難からず是を以て觀るも一面當社の事業が如何に基礎確固にして將來有利有望なるかを認識すべし株式引受の希望の方は左記條項により此際至急申込あらん事を

大正六年五月

朝鮮燐寸製造株式會社
創立委員長　奧田貞次郎

追而定款目論見書、申込用紙等ハ左記株式申込所ニ備へ置候

株式募集要項

一設立許可　大正六年二月廿六日
一目的　黃燐安全燐寸ノ製造、販賣及附帶ノ事業
一資本金　金五拾萬圓
一募集株數　總株數一萬株ノ內一千株（八千株ハ發起人贊成人ニ於テ引受濟）
一申込證據金　一株ニ付金貳圓五拾錢
一申込期限　五月十五日ヨリ廿五日迄
一募入方法（定決）　應募株數カ募集株數ニ超過シタルトキハ按分比例ヲ以テ委員長之レヲ決定ス

發起人（イロハ順）

張錫佑　田中佐七郎　丁致專　白神一國　奧田貞次郎　高木助市　淺松太郎　和田友太郎　天日常次郎　美濃谷榮次郎
外贊成人六拾七名

株式申込取扱所

仁川　朝鮮銀行仁川支店
同　十八銀行仁川支店
同　百三十銀行仁川支店
同　朝鮮商業銀行仁川支店
仁川商業會議所內　朝鮮燐寸製造株式會社創立事務所

故從六位勳五等岡烈儀死去に就ては御懇篤なる弔辭弔電を賜はり候段御厚志難有奉鳴謝候早速御禮狀差出可申筈の處乍失禮以新聞紙上不取敢玆に御禮申述候謹言

女　萬壽子
親戚　一同
友人　一同

富增銈　儀療養中の處病氣不相叶十八日午後一時逝去致候此段生前知己諸君へ謹告仕候
追而葬儀は十九日午後二時東亞煙草會社舍宅出棺新町東本願寺別院に於て佛式相營申候
五月十九日
妻　俊子
親戚總代　加藤末郎
友人總代　奧澤秀藏
佐藤憲三郎

見逃し給ふな
終篇快漢ロロー（十九篇二十篇四卷上場）
約三ヶ月に亘り連續大好評を博せし快漢ロローは愈々今週を以て全部完了せんとす一國際問題を惹起し米軍對メキシコ動亂軍との戰爭となり際涯なき大陸の大砂漠に於て變轉極まりなくして幾多の犧牲を拂ひつゝ卍巴と入り亂れてロッ對ウインストン少佐の激戰は果して何れが勝利に歸する乎。九死に一生を得たる忠僕ロロー生死如何。ロバート大尉とリバチー孃は果して圓滿なる家庭を作り得るや。二十編四十卷の空前の大寫眞も遂々本寫眞に依て全部を解決す！見逃し給ふな！

新派悲劇　いろは姿　三卷
人世の行路たる社會生存の裏面に本劇の如き凄慘無情其極に達し見るものをして惻然袖を絞らしむる最大悲劇

史劇維新快傑　天野八郎　四卷
德川の臣天野八郎伏見の戰に利あらず江戸へ逃れ彰義隊長となり上野に籠り奮戰自及すと云ふ松之助一流の大活劇

□寫眞又々長尺に付五時半より映寫
□入場料普通

大正館

土佐產　鬱桑種子
普通桑種子
特等品　壹升　金四圓五拾錢
特等品　壹升　金四圓
並等品　壹升　金貳圓五拾錢
但し運送賃は別に申受候事
京城府南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
長距離電話四〇三番　振替口座京城三七八番

店員至急募集
年齡十六歲より二十歲迄但市內に確實なる保證人を要す
龍山漢江通一三　電話四五五番
龍山堂書店

增設　電話二四八番開通
京城本町一丁目
佐藤牧商店
電話二一九番

告京城分會員
定期總會開催候條本分會員ハ同時刻迄ニ御參集相成度シ
二十日午後一時獎忠壇ニ於テ
在鄉軍人會京城分會

書畫骨董競賣
拜啓愈々御清祥之段大慶に奉存候却說今般藤田氏北京より書畫骨董珍品五百餘點を輸入せられ尚同氏が在來城方面より收集致居候高麗燒等を併て左記の方法に依り競賣仕り候間何卒御光覽被下度候
場所　原金旅館（京城南山町電話一五〇番）
日時　五月十九日下見　二十日糶賣
京城美術俱樂部

店員募集
但し商業に經驗有中等以上の教育有者市內に確實なる保證人二名を要す年齡二十五歲以上志望の人は午前九時迄に自筆履歷書携帶本人來談あれ
京城長谷川町七十四番地
和洋諸紙　印刷材料
近澤商店

開業披露
今般左記の處に大正バーと名稱し一品洋食開業仕候に就ては極く安直に尚多少に拘らず出前仕出に應ず可く候間何卒御引立を蒙度奉願上候　敬白
大正バーの特色
三品外に（パン・コーヒー・菓子）付卅五錢
洋食一品十錢均一
京城旭町三丁目（橫山家具店橫上ろ）
大正バー

蠶繭、生糸
出殼、屑物
見本御送付次第値入申上候
多數有之節は店員出張仕候
龍山漢江通り
繭糸商行
電話（長）一五七番　電略（◎コシ）貳（◎）

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百六十九 心頭の波瀾 『三三』の八

座の中央に坐つたぎり、石の如くなつて半句の語さへも發せずに居た絹代は、此の時初めて僅かに顏を擡げたのである。

『御前樣、お詫びなどゝは勿躰ない御座います。元々妾は桑原さんからのお遺ひ物として、お居敷へ送り込まれた女で御座います。それを承知しながら御前樣の仰せに從はずに居りましたのは、妾の我儘勝手と申すもので御座います。妾こそ幾重にもお詫びを致さねばなりません。……併し、今日限りお暇の出ました以上は、初めて眞の妾の身體と申すもので御座いますから、倉橋の阿兄さんにも先達ての夜偶然寺の庫裏でお目に竟りました時、心にもない無禮を申しました罪は、改めてお詫びを致さねばなりませんが、もし阿兄さん彼の時の事はお許しになつて下さるで御座いませうね。』

絹代は、彼の折心にもない愛憎盡しを言つて、幸三郎を立ち蹄らしめた以來、それが病苦の種を作つて、一時は枕も得上らぬほどの重患となつたのである。爲めに男爵は、蟄居の身で在ながらも夜々散歩に事寄せて、潜び〳〵に寺の庫裏を訪問し、醫藥の手當は勿論、その他何呉れとなく注意せられた甲斐があつて、今日此の頃では案外快方に向つて來たやうなものゝ、一月餘り病褥に呻き通した絹代は、殆んど骨と皮ばかりに瘠せ衰へて了つた。彼女が死人の如き力ない蒼白めた顏色を爲て居るのは、眞個是が爲めなのであつた彼女は、男爵に對し、幸三郎に對して、是丈の事を言ひ出したのさへ實は遠い途を重い荷を背負つて歩いた旅人以上の息切れと苦痛さとを味へつゝあるのである。あはれ、幸三郎の緋雪が眼には、その果敢なき面影は何等の惻隱的感情を與へぬのであらうか？

『絹さん、僕こそはお前から詫語を言はれる理由がありません。僕とお前とは、先達て僕が崖から轉げ落ちて、お前と顏を見合つた時に於て、立派に總ての關係が絶ち切られてあるんだよ。加之、僕には先刻も御前に申上げた通り、他に大なる心の誓ひがあつて、生涯妻を持つ事は出來んのだから、旁々僕の事は、赤の他人と思つて呉れ給へよ。』

幸三郎は、故意とどげ〳〵しく膠もなく言ひ放つて、口を交くさへも穢らはしいやうに彼方を向いて了つた。

直則男爵は、まだ君は乃公と絹代との仲を疑つて居るのかと、睨め付くるやうな眼で、幸三郎の横顏を見て居られる。

『それは大きにそれに違ひ御座いませんですね。妾が阿兄さんの事を斷念して、御佛の弟子となり、一生を終る覺悟だと申した事は、決して忘れは致しませんが、阿兄さんは、それを恐らく妾の心變りと思召したのでせう。それは阿兄さん、彼の時の事情が、然う申さなければ、御前樣とお約束申した根くらべの意地が消に失せて了ふからです。御前樣のお前では申し上げにくう御座いますけれども……後から又、幾倍の難題が起つて來るやらと、それが恐しさについ、心を鬼に爲て、彼のやうに申したので御座います。妾はもう、阿兄さんのお心に、然う云ふお誓ひがお有りのならば、強て妻に爲て頂きたいとは申しません……が……あの倉橋の阿兄さん、操を破つたと云ふ疑ひの雲丈は、是非々々晴らして頂かねばなりません』

絹代の眼からは、血のやうな涙がぽた〳〵と流れ落つるのであつた。

『緋雪君、疑ひと云へば、乃公も實は懺悔次手に言ひますが、君や乃公の頻りと辯護して居る彼の袖子ちやね。彼女は承知の通り、通が葭町の藝者で、その時代から乃公も買馴染んで居つたとは云へ、一旦桑原の妻君同樣になつた者を――裏面には縱しどんな理由があつたにもせよむや此方へ再び引付けるなど云ふのが、既に華族の肩書を有つた人間の爲べき事ではないが、その浮氣稼業の女でさへも、乃公の留守中にちやの……はゝゝは、倉橋君、懺悔談やから氣に掛けては不可よ。運轉手づれの讒言に載せられ、君と袖子が如何はしい形跡があるものと信じて、乃公は斷然彼の女を放逐して了うた譯ぢやが、その時、袖子の言ふには『塚本如き人非人の語を信じて妾を放逐なさるなら、妾は潔白の立つまで甘んじて寃の罪を被ませうその代り、緋雪さん又は彼の金屏風の出來上るまで、眼を瞑つて屋敷へ出入りを許しといて貰ひたい』と、命にかけて斯う言ふもんぢやからの乃公も實は片手落の裁判と知りつゝ今日までは君に一言も明さずに居たのぢや。所が、今夜君の此の傑作を見ると同時に、總ての疑心が釋然として旭の前の霜の如く溶けて了うたやうなもんでの。君も、絹代に對する疑ひの雲だけは、是非々々此の機會に於て、氷釋して遣つて呉れんでは、病みほうけた絹代が可哀さうでなりませんぢやよ』

男爵は、自己の行爲の淺果敢なりし事をさらけ出さるゝと同時に、絹代の爲めにも亦熱烈なる辯護の勞を盡さるゝのであつた。

金牌受領 登録商標 滋養飲料 玄米精乳 京城北米倉町 ……○粗惡なる模造品あり御用心○……

□送別句筵 (五月一日) ‖公州山城吟社‖

如雪子は彌勒の論山へ敎鞭を移し、碧山子は氏が樟杯に努められたる、乃ち惜別の筵を敷て兩氏と別るゝことゝなる

移住來て未だ耕さず鳴く田螺 孤秋
夜汽車出し後の小驛の朧なる 同

朧行けば道を畑の横に切る 同
欄に倚ればせゝらぐ川朧なる 未刀
朧夜や都大路を灯の搖るゝ 同
舟に見る星尾の長き朧哉 奇石
靑塗りし牛乳受けや花の雨 同
十千萬堂の句集借りたり田螺煮る 鶴城
小猫埋けて土新らしき花の雨 同
語り飽きて紫めば汽車の朧哉 さだ女
峠坂迺る讓設輪の朧哉 同
殼白く田螺に射す日強き哉 友渓
涅槃會や沓靜かなる貌形 同
植込の青み行く日や花の雨 如雪
月高きに松の黒さの朧哉 豊山
老尼一人花しれぬ花の雨 神搭
鯨幕に何の滲みや花の寺 方外
市に聽く鐘の遠さよ花の雨 容堂
翡翠の木隱れ飛ぶや花の雨 可舟
雪駄提げて奴行くなり花の雨 雲水
進み馬に馬る人や花の雨 不醉
花の雨大六濡れて在します 一佛
雨三日櫻に濡れし蛙哉 悠々

送別

君去りし机の塵や春の月 悠々
花萬朶別るゝ君に似たる哉 雲水
行春を今宵限りと惜む哉 一佛
灯さで語る別れや春の宵 容堂
君を待つ沿線の山笑ふなり 孤秋
一株の牡丹移すや夏隣 不醉
春惜む村に思はぬ國ばなし 奇石
菊の根の分れ〳〵となる日哉 神搭
花の雨惜むと言ふ口癖ならん 可舟
行く雁や空高々と別れ去る 鶴城
主移りて降り灯さす花の雨 方外
燕に小雨灑りなり金鳳花 さだ女
徂く春や火鉢の灰に殘る文字 未刀
喚くに涸れて死ぬ強で見ず沈丁花 友渓
徂く春を紐の縺れや柳行李 尤香

新刊紹介

△少年號(六月號) 八錢東京中澁谷三〇九六 學新報社
△少女號(六月號) 八錢東京中澁谷三〇九六 學新報社
△少年倶樂部(六月號) 十六錢東京本郷區込區下町四八大日本雄辯會
△トモダチ(六月號) 十二錢東京麹町富士見町二葉社
△相談之友(五月號) 五錢東京神田三崎町三ノ一共社
△珊瑚礁(五月號) 二十五錢東京神田表猿樂町三共社
△時事評論(五月號) 二十錢東京四谷坂町三ノ三八共社
△朝鮮農會報(五月號) 二十錢京畿道水原朝鮮高等農業會
△正則中學講義錄(四學期ノ六) 會員組織 東京神田駿河臺大日本國民中學會
△勝友(五月號) 五錢京城本町三ノ五〇淨土宗市年會本部
△女の世界(五月號) 二十三錢東京麹町有樂町一ノ四實業之世界社
△東方時論(五月號) 三十錢東京牛込加賀町二ノ五共社
△黒潮(五月號) 三十錢東京麹町内幸町一ノ五太陽通信社
△土木建築工學(五月號) 二十五錢東京日本橋本石町一ノ一共社
△我が國(五月號) 二十錢東京四谷右京町一九興國社
△婦人週報(三ノ一九) 四錢五厘東京牛込市ケ谷田町二ノ一七共社
△半島時論(五月號) 二十五錢京城櫻井洞一九六共社
△金星(五月號) 十九錢東京麹町有樂町一ノ三共社
△角力世界(五月號) 二十錢東京京橋築地一ノ二共社
△圍碁虎之巻(五月號) 二十錢東京麻布富士見町富山本社
△新少女(六月號) 十二錢東京雜司谷上り屋敷婦人之友社
△少年(六月號) 十二錢東京々橋南鍋町時事新報社
△新少年(六月號) 十二錢東京神田錦町三ノ六平和出版社
△少女(六月號) 十六錢東京京橋南鍋町二ノ二時事新報社
△刀劍と歴史(五月號) 二十錢東京下谷南稲荷町御料地羽澤文庫
△寫眞タイムス(五月號) 二十五錢東京四谷新町一八明治發販社
△拓殖新報(五月號) 二十五錢東京京橋北紺屋町四共社

廣告

商況 大阪株式特電

鐘淵紡績 同新株 東洋製糖 大阪商船 日本郵船 [illegible]

▲仲裁者現はる 臨時休會したり 新市場設置以來急激なる相場の立直りに遭遇し遂に十五日後場より十六日前[illegible]

▲現物界 協議中との事異状[illegible]

◉釜山局取扱通信數 客月中釜山郵便局に於て取扱ひたる通信事務の成[illegible]替事務は振出五萬一千四百〇六圓拂渡十三萬〇九百八十五圓の多額を示し[illegible]約三割五分の増加小包事務は二千[illegible]

▲電車と荷車 (釜山) 十日午前七時十五分頃京城電氣株式會社の五十五[illegible]は左手拇指に擦過傷を負ひ附近の醫院にて應急手當を受けたり

▲正誤 昨五月拾八日掲載京城府公文欄京城府條例第武號中拾壹行ノ「一付ニ付」ハ「二件ニ付」ノ誤植ニ付訂正ス

京日案内

普通一回前金五十錢 番外一回前金(一回に限る)
▲申込後中途休載中止の節は料金返戻せず ▲六回以上の御申込には特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば御返事致さず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

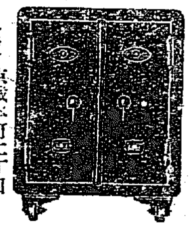
普通
◉ピアノオルガン賣買調律修繕金融の御依頼にも應ず 大和町一ノ四一 電取次六七七 杉野樂器店 24
◉内地人朝鮮人女工數十名募集 製絲に經驗あるもの 京城並木町二一四二番地 朝鮮製絲所 21
◉看護婦及見習看護婦募集希望者は履歴書携帶來談 京城本町二ノ四五 山田内科小兒科醫院 電二八八〇 26
◉醫師至急傭はれ度し (姓名在社) 22

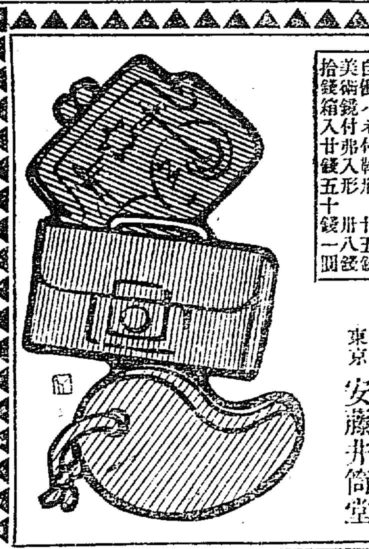
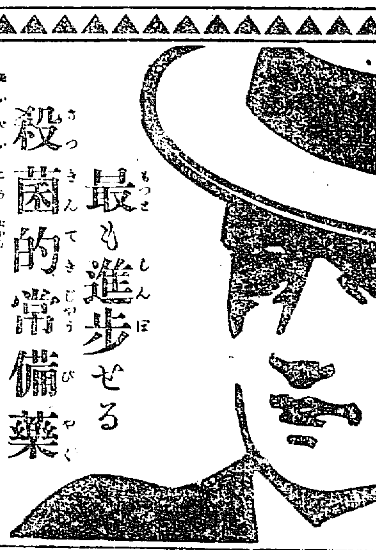
番外
◉店員手代入用 京城府青葉町二丁目 大橋大三郎
◉藥局生看護婦及見習至急入用 姓名 仁川支局 18
◉有望なる賣藥店至急譲り渡したし (姓名在社) 19
◉融通 月收の御方へ極秘迅速簡易 替御報何又は御來談 京城大和町三の三武(柄澤前) 97
◉自轉車月賦販賣に應ず 京城黄金町二丁目角 イバラキ商店 電二九二七 797
◉はねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 47

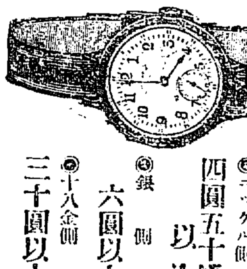
恩給年金即時立替 短期無保險取扱確實也 京城南大門外南御成町 山口屋 鮮銀支店京義線踏切東 廣川商店 60
恩給年金立替 短期無保險 即時取引 利子格安 京城若草町 電話二三九一番 國江商會 81
◉礦物定量分析 朝鮮公論社左横小路 大平町二丁目 電話長三四四 坂元分析所 80

わきが 好期 治療 全快 實驗 ▲新刊腋臭療法解説書全部無代呈す

健胃消化 胃病によく効く ゴルフ ゴルフはカタカナゼを主藥とせる健胃消化劑なり 東京冬木町 奉昌製藥株式會社


ベントン式金庫 竹内金庫 謄寫版 京城本町二丁目 熊平支店 電話長六二四番



最も進歩せる殺菌的常備藥 衛生口錠 カオール
◉呼吸より感染の恐を豫防し
◉酒、煙草の中毒を防ぎ
◉疲勞を回復し精神爽快に元氣旺盛に
◉咽喉の故障を調節し音聲をよくし
◉絶へず口中より馥郁たる芳香を放つ
◉運動會、遠足、庭球、野球、舟遊、乗馬其他
◉酒、煙草、飲食の前後、接客、訪問、談話、旅行、人込等最も必要
怠らず口中せられよ 自他衛生上一番安全
ヒスイ色まが玉形 卅五錢 自働バネ付鞄形 廿五錢 美術鏡付弗入形 卅八錢 拾錢箱入廿錢五十錢一圓
オリヂナル本舖 東京 安藤井筒堂


愈々腕時計シーズン來る
▲地方御注文は代金引換小包料十七錢書留小包料十二錢
◉ニッケル側 四圓五十錢以上
◉銀側 六圓以上
◉十八金側 三十圓以上
京城本町 村木時計舖 電話長四七一番 振替京城三一九〇番

蠶繭 高價買入 魯桑種子 豫約販賣 養蠶具一式 特價販賣 京城府漢江通四番地 東蠶社 電話龍山六四二番 振替京城三六二番

最新刊 書名 著者 定價
◉神珍朝鮮行政警察法規 朱藤波武男 [illegible]
◉歐州大戰と日本の將來 [illegible] 一八〇
◉儒家哲學本義 内田正 一四〇
◉ロッス社會心理學 高部勝太郎 一四〇
◉大正六年職員錄 朝鮮總督府編 一五五
◉小作契帳 松本恒吉 六五
◉覺え易い算術の解方 岡田昇一 五五
◉正式解法算術熟達自修書 數理研究會編 八〇
◉句佛上人 沼夜濤 二〇〇
◉教へる人學ぶ人 門田正經 一二〇
◉女に觀めて [illegible] 一三〇
◉女の務むべき道 [illegible] 八五
◉日蓮全集 [illegible] 二〇〇
◉新古今集合本 [illegible] 九〇
◉天下の糸平 高橋淡水 七〇
◉北原白秋 [illegible] 七五
◉草合 夏目漱石 一三〇
◉銅と鉛 [illegible] 二五
◉鳴雪俳句鈔 内藤鳴雪 四五
◉美文の作りやう 吉川 四五
◉小野名人將棋秘訣 小野五平 六〇
大阪屋號書店 京城本町一丁目 振替京城二五七三番

阿波共同汽船 仁川出帆
◉芝罘、大連行 會下山丸 五月十九日午後入港 五月廿一日前十時出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船 出帆
江原丸 六月三日 京畿丸 五月廿四日 黄海丸 五月廿九日 咸鏡丸 五月十九日 釜山發
穩城丸 五月十八日 吉平丸 五月廿一日 鏡城丸 元山發
[illegible]
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 内國通運會社京城支店 仁川京城通り 開盛旅館

大阪商船 仁川出帆
◉門司、神戸、大阪行 [illegible] 五月十八日後二時出帆
◉木浦、釜山、長崎行 安東丸 五月二十日 正午出帆
◉鎮南浦、大連行 [illegible] 正午出帆
◉大連直航 [illegible] 正午出帆
◉西湖津新浦城津清津行 [illegible] 後十二時出帆
◉上海、基隆、打狗行 [illegible] 後四時出帆

日本郵船 仁川出帆
◉大連行 太沽(天津)牛莊行 五月廿三日正午出帆
仁川海岸町 回漕部

尾崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行 五月廿四日後四時出帆
仁川海岸町 高杉回漕部